

一般社団法人 日本コンクリート診断士会
2017年度（第8回）定時社員総会資料

2017年5月24日(水)

議 案

- 第1号議案 2016年度事業および収支報告
第2号議案 2017年度事業および収支計画
第3号議案 細則の改訂

報 告

- (1) 各地区コンクリート診断士会活動報告・計画
(2) 会員数等報告
(3) 参加委員会活動報告
 サスティナビリティ委員会
 国土交通省インフラメンテナンス国民会議
(4) 理事・監事，幹事 一覧
(5) その他

特別講演 演 題：コンクリートの耐久性評価方法の提案

講演者：首都大学東京

大学院都市環境科学研究科建築学域

教授 橋高 義典

JCD

第1号議案 2016年度事業および収支報告(案)

1. 2016年度事業報告(2016年4月1日～2017年3月31日)

1.1 第7回定時社員総会

- ・ 2016年5月24日 場所：(公社)日本コンクリート工学会 会議室 正会員出席者78名
委任状出席者734名 合計有効出席者数812名(議決権数1355名)60%
(賛助会員, 法人会員:13名)
- ・ 2015年度事業報告・収支報告, 2016年度事業計画・収支計画, 細則改訂について審議し承認された。
- ・ 各地区診断士会より活動報告・計画が報告された。

総会后, 「コンクリート診断士のこれからを考える」と題して討論会が開催された。討論会の第1部として「各地区コンクリート診断士会の活動」の報告がなされた。

引き続き, 第2部「～コンクリート診断士会のこれからを考える～」と題して林会長の進行により討論会が開催された。最初にパネラーの大分県, 北海道, 広島県および福井県の各地区の会から話題提供され, 提供された話題ほかについて積極的な討論がなされた。

2. 各部会報告

2.1 企画部会

- ・ 部会長会議の開催(2016年11月25日, 2017年3月27日の2回開催)
- ・ 「コンクリート診断士会のこれからを考える討論会」の企画およびその運営
- ・ 日本コンクリート工学会主催「コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムIV—サステナビリティフォーラム各団体の創造的挑戦—」の資料作成および発表
- ・ 他部会の事業のサポートとブラッシュアップの提案

2.2 総務部会

(1) 総務

- ・ 総会に関する事項を計画および実施した。
- ・ 定款等の会則について必要に応じて検討を行った。

(2) 財務

- ・ 当会の定款に定められた事業計画を実行するための健全な財務体質を構築した。
- ・ 中間決算を行い, 健全な財務の執行に努めた。
- ・ 効率的な活動を実施するため, 収入増加, 支出削減対策を検討・実施した。
- ・ 当会の財務の執行状況を適時確認し, 必要に応じて事務局と協働して適正化を図った。

2.3 技術部会

(1) 第4回全国業務体験発表会の開催

- ・ 前回, 第3回は, 石川県コンクリート診断士会の協力を得て金沢市で開催したが, 今年度は隔年東京開催ということで東京にて開催した。
- ・ 開催日時: 2016年11月25日(金) 13:00～17:30

- ・ 開催場所：(公社) 日本コンクリート工学会 (JCI) 11F 会議室
- ・ 発表件数：12 件
- ・ 参加者：66 名

(2) 講師派遣

地区診断士会等からの研修会・講演会等の講師派遣要請に対して、講師の紹介や、適任者を選定し、下記の通り講師派遣を行った。

- ・ 静岡コンクリート診断士会開催のコンクリート診断士受験対策セミナー → 峰松, 木村幹事
- ・ 長野県コンクリート診断士会開催のコンクリート診断士受験対策講座 → 峰松, 星野, 木村幹事

(3) 受託業務対応

- ・ 構造物の維持管理等の受託業務(定款第 3 条(4))への対応は、受託の可否を含めて基本方針を検討し、要請があった場合にはリスク等を十分考慮し、慎重に対応した。
- ・ 問合せ対応は多数あったが、受託業務契約はなかった。

(4) 関連委員会等へ参加

- ・ JCI のサステナビリティ委員会に引き続き参加し情報共有と、当会としての役割を果たした。
- ・ 土木研究所構造物メンテナンスセンターのシーザー発表会へ参加し、情報の共有化に努めた。
- ・ インフラメンテナンス国民会議(2016 年 11 月 28 日設立)に参画した(2016 年 12 月)。

(5) 技術情報収集と会員への共有化

- ・ 会員からの技術情報やトピックス等を募集し、全会員への有用な情報を提供した。
- ・ 行政、学会、JCI などの主なトピックス、各地区で実施している取組み、新聞記事等の情報を共有化した。
- ・ 広報部会と協働してメールかわら版の発行を支援した。

(6) コンクリート診断士受験対策講座の開催

- ・ コンクリート診断士受験支援と診断技術のブラッシュアップを目的に下記の通り開催した。
- ・ 「コンクリート診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座」
 - ・ 主催：日本コンクリート診断士会、共催：東京コンクリート診断士会
 - ・ 開催日時：2016 年 5 月 14 日(土) 5 月 15 日(日) 9:00~17:00
 - ・ 開催場所：東京都台東区アサノ大成基礎エンジニアリング会議室ほか
 - ・ 参加者：26 名(会員 8 名、一般 18 名)
 - ・ 使用テキスト：「コンクリート診断士 受験対策講座 2016」(技報堂出版)
 - ・ 「第 2 飯 コンクリート診断士受験のための計算問題攻略講座」(〃)
- ・ コンクリート診断士受験直前講座
 - ・ 主催：日本コンクリート診断士会、共催：東京コンクリート診断士会
 - ・ 開催日時：2016 年 6 月 19 日(日) 9:00~17:00
 - ・ 参加者：22 名(会員 3 名、一般 11 名)

(7) コンクリート診断士技術力向上研修会の開催

- ・ 27 年度国交省民間資格の業務内容が、診断まで登録されたことを受けて、診断業務まで確実にを行うための基礎知識の習得を目的として、主に 26 年以前の既資格者を対象に、「コンクリート構造」についての研修を計画したが、東京診断士会で 3 月 2 日に開催したセミナーだけに止まった。

2.4 広報部会

(1) メールかわら版の発行

- ・ 個人・法人会員へ直接メール送信して関連情報の共有化を図るメールかわら版を技術部会と協働して発行した。
- ・ 本年度は4回発行（2016.04, 2016.07, 2016.10, 2017.01）した。

(2) ホームページの充実

地区診断士会活動紹介, 技術情報, 催し物情報, 特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載した。ホームページについて下記の事項を実施した。

- ・ 随時ホームページを更新し, 各種行事開催予定などの情報を速やかに会員へ提供した。
- ・ 計画していた法人会員の保有技術について, 申請のあった法人会員の保有技術をホームページに掲載した。

(3) 関連官公庁等への PR

国土交通省, 都道府県, 高速道路各社, 土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用について PR するとしたが今年度はできなかった。

(4) 関連催し物の後援

- ・ JCI, 関連団体等で実施する本会の目的に合致する催し物を積極的に後援し, 認知度向上と関連団体との連携強化を図った。
- ・ 情報交換についての実施結果は次のとおりである。
- ・ 各団体等で実施した関連講習会開催情報を, 地区診断士会等にメールでお知らせした。
- ・ 催し物の後援・協賛の実施結果は次のとおりである。
 - ✓ JCI「コンクリートサステイナビリティに関するシンポジウム」2015年11月17日および「コンクリートサステイナビリティに関するシンポジウムⅡ」を後援した。
 - ✓ コンクリートメンテナンス協会「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2016」を後援した。

2.5 会員部会

(1) 空白地区の診断士会設立促進・支援および未入会診断士会の入会案内

- ・ 特に関西, 東北, 四国, 九州地区の診断士会設立のために引き続き支援活動をした。
- ・ 会員部会が中心となり, 企画・広報部会と連携して具体的な計画を検討・実行した。
- ・ 一昨年より入会について案内を継続した結果, 富山県, 宮城県は2016年度4月1日付で入会, 熊本県は5月に入会。
- ・ 現在, 地区診断士会を設立し, 未加入の地区には山口県, 奈良県, 香川県, 岡山県の4県。
- ・ 地区診断士会を設立準備中の地区は, 長崎県, 大阪府・兵庫県などがある。

(2) 個人会員, 法人会員増に対する活動

- ・ JCIの診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会へのPRを実施した。
- ・ コンクリート診断, 補修・補強業務に関係の深い企業に対し, 積極的に法人会員へ入会へのPRを随時実施し, 法人会員の増加を図った。
- ・ 法人会員拡大計画について実施結果は次のとおりである。
 - ✓ 随時関係者に入会について案内をした。
 - ✓ 計画ではA会員1社, B会員1社, C会員4社の合計6社入会としたが, 法人会員の増減の実績はA会員0社, B会員0社, C会員2社で, 現在法人会員は71社である。なお, 昨年度末の会員数は69社である。

2.6 事務局

(1) 会長，副会長，理事間，各部会間，地区診断士会間の連絡調整

会長，副会長，各理事，各部会活動および各地区診断士会活動連携強化の支援を行った。

(2) 会員管理の充実

- ・ 会員名簿等の会員情報の更新，会員証発行，地区診断士会との調整等確実かつ円滑に実施した。
- ・ 新規入会者に対して 6 月，10 月の 2 回にまとめて会員証を発行した。
- ・ 個人会員証の裏に行動規範要約を印刷し，これを携帯することにより，会員の倫理意識の向上を図った。
- ・ 会員管理に関する実施事項は次のとおりである。
 - ✓ 法人会員，個人正会員，個人賛助会員の追加会員証を作成し配布した。
 - ✓ 地区診断士会が取りまとめた個人会員名，連絡先等の会員名簿を定款 11 条に基づき整備・保管を実施した。

(3) 事務局業務の効率化，簡素化

- ・ 予算管理，確定申告，ホームページ更新等の年間事務局業務を整理し，効率化と経費節減に努力した。

(4) 部会・幹事会活動の支援

- ・ 各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援した。
- ・ メールかわら版発行を実施体制整備して支援した。
- ・ 部会・幹事会活動支援の活動実績は次のとおりである。
 - ✓ 幹事会については，別紙 2 のとおり企画部会を支援した。
 - ✓ 部会長会議は，2016 年 11 月 25 日および 2017 年 3 月 27 日の 2 回の開催を支援した。

(5) その他業務

当会の目的を達成するための各種業務を実施した。主な業務内容は下記のとおりである。

- ・ 第 7 回定時社員総会開催
 - ✓ 2016 年 5 月 24 日（火） 場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室
 - ✓ 2015 年度事業報告・収支報告，2016 年度事業計画・収支計画，各部会活動報告と今後の計画，細則改訂
 - ✓ 総会については上記 1.1 のとおりである。
- ・ 理事会開催
 - ✓ 総会当日に理事会を開催した。
 - ✓ 必要に応じてメールにより随時理事会を開催した。
 - ✓ 幹事会報告等について，各部会からの意見に基づき審議した。
 - ✓ 年間 22 回開催した。
 - ✓ 活動実績は別紙 1 のとおりである。
- ・ 幹事会
 - ✓ 理事会の指示および年度計画に基づき懸案事項について検討した。
 - ✓ 年間 3 回開催した。
 - ✓ 活動実績は別紙 2 のとおりである。

3. 2016年度収支報告(案)

2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)の収支・決算(案)を表-1に示す。

表-1 平成27年度の収支・決算(案)

収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	28年度予算	28年度実績	27年度実績	備考		
収入	前年度繰り越し													
	1.1	会費	法人会員会費	SA	0	社	100,000	0	2,735,000		2,641,600	2,456,300	28年度分には前受金97000円を含む	
				A	14	社	50,000	700,000			650,000			
				B	12	社	30,000	360,000			300,000			
				C	51	社	10,000	510,000			480,000			
			個人会員会費	地区の会	1470	人	800	1,176,000			1,236,800		下記の法人分差引要	
				法人分	-50	人	2,200	-110,000			-90,200		法人登録分41名分	
				個人分	11	人	3,000	33,000			30,000			
				29年度分		式					12,000		個人年会費前受金	
			入会金	入会金	法人分	6	社	10,000	60,000			20,000		
					個人分	2	人	3,000	6,000			3,000		
	2.1	雑収入	受託業務		1	式	0	0	0	681,700	837,400	1,083,580		
			受験講座講習会	27年度前受金	1	式	97,000						繰越金を含む	
	2.2		受験講座講習会		1	式	307,000	307,000		309,000			28.5月開催、上記により前受金を減額	
	2.3		直前講座講習会		1	式	214,000	214,000		152,200			28.6月開催	
	2.4		講師派遣等		1	式	160,700	160,700		376,200			静岡、長野講習会分	
			雑収入2						277,500	381,031	404,581			
	2.5		業務発表会参加費		1	式	120,000	120,000		118,000			2000円*60名	
	2.6		講習会28年度分	29年度分前受金	1	式		0		0			前受金	
	2.7		交流会参加費		1	式	157,500	157,500		253,500			総会および業務発表会後	
2.8		その他		1	式	0	0		9,450			会員証印刷費		
2.9		受取利息		1	式	0	0		81					
									計	4,972,204	5,138,035	5,028,238		
支出	4	運営費	事務費						1,831,000	1,624,472	1,703,861			
	4.1.1		事務局人件費	12	式	100,000	1,200,000		1,061,970					
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000	360,000		360,000					
	4.1.4		資料作成費等	1	式	10,000	10,000							
	4.1.5		事務用品費	12	式	2,000	24,000			9,043				
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000	60,000		60,000					
	4.1.7		通信費	12	式	6,000	72,000		49,033					
	4.1.8		荷造り送料	1	式	5,000	5,000		1,188					
	4.1.9		会員証作成費	150	枚	20	3,000							
	4.1.10		振込手数料他	1	式	2,000	2,000		3,158					
	4.1.11		租税公課	1	式	5,000	5,000		10,000					
	4.1.12		その他	1	式	90,000	90,000		70,080					
	4.2		総会費						169,000	194,138	152,621			
	4.2.1			パネラー準備費他	1	式	35,000	35,000		35,000			講師交通費	
	4.2.2			資料印刷費	80	部	500	40,000		38,718				
	4.2.3			椅子他費用	1	式	19,000	19,000		23,220				
				その他	1	式	75,000	75,000		97,200			総会後交流会分:3500*20人他	
	4.3		行事費						168,500	250,478	151,438			
	4.3.1			業務発表会	1	式	81,000	81,000		86,478			資料印刷費、会場費他	
	4.3.2			セミナー費	1	式	0	0		0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.3			見学会費	1	式	0	0		0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.4			交流会費	1	式	87,500	87,500		164,000			業務報告会後交流会:3500*25人	
	4.4		宣伝広告費						170,000	170,000	201,096	0	HPの改定、パンフ更新を含む	
	4.4.1			HP改定費						146,880				
	4.4.2			パンフレット改訂費						54,216				
	4.5		活動費						215,000	129,473	118,080			
	4.5.1			理事会他	1	式	60,000	60,000		65,743			部会長会議関係含む	
	4.5.2			理事会資料他	1	式	5,000	5,000		4,940				
	4.5.3			部会活動費	5	部会	30,000	150,000		58,790				
	4.6		役員活動交通費						432,000	468,850	498,040			
	4.6.1			事務局交通費	12	月	11,000	132,000		139,230			委員会参加交通費を含む。	
	4.6.2			役員活動交通費	1	式	300,000	300,000		329,620			部会長会議、幹事交通費他。	
	4.7		受託・講習会関係						702,190	808,688	1,033,494			
4.7.1			外注費	1	式	0	0							
4.7.2			受験講座講習会	1	式	346,420	346,420		315,600					
4.7.3			直前講座講習会	1	式	206,570	206,570		147,468					
4.7.4			講師派遣	1	式	149,200	149,200		345,600			静岡、長野派遣		
4.8		法人税等						114,200	107,900	92,700				
4.8.1			法人所得税	1	式	25,500	25,500		25,500			27年度分に対して課税		
4.8.2			法人地方税	1	式	7,400	7,400		1,100			7400→1100に変更8/26、差額が還付		
4.8.3			法人都民税	1	式	20,800	20,800		20,800					
4.8.4			事業税	1	式	8,100	8,100		8,100					
4.8.5			法人市民税	1	式	52,400	52,400		52,400					
4.9		預り金						0						
5		支出小計						3,801,890	3,785,095	3,750,234				
6		予備費				1,170,314	1,170,314	1,170,314						
7		合計					4,972,204	4,972,204	5,138,035	5,028,238				
8		収支差額							1,352,940	1,278,004		3/31現在の現金+預金残高		
9		次年度繰越金							1,340,940			繰越金は前受金を差引いた金額		

監査報告

以上のとおり報告します。

2017年 3月 31日

一般社団法人日本コンクリート診断士会

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成 29 年 5 月 12 日

監

事 田畑 雅幸



監

事 本田 明



第2号議案 2017年度事業および収支計画（案）

1. 2017年度事業計画（2017年4月1日～2018年3月31日）

1.1 企画部会

- ・日本コンクリート工学会との意見交換会の開催
- ・部会長会議の開催（2回）
- ・2018-2019年度期 理事・監事の選定に関する方針の検討（総務部会との連携）
- ・会員数を増加させるための方策の検討とその活動（会員部会との連携）
- ・他部会の事業のサポートとブラッシュアップ

1.2 総務部会

- ・総会に関する事項を計画および実施する。
- ・定款等の会則について必要に応じて検討を行う。

1.3 財務部会

- ・当会の定款に定められた事業計画を実行するための健全な財務体質を構築する。
- ・効率的な活動を実施するため、収入増加、支出削減対策を検討・実施する。
- ・中間決算を実施し、必要に応じて軌道修正する。
- ・当会の財務の執行状況を適時確認し、必要に応じて事務局と協働して適正化を図る。

1.4 技術部会

(1) 第5回全国業務体験発表会の開催

今年度は、地方開催第2回目として愛知県名古屋市で開催する。

主催：日本コンクリート診断士会

共催：東海コンクリート診断士会

日時：2017年11月17日 13:00～17:00

場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）901号

(2) 第1回保有技術発表会の開催

主催：日本コンクリート診断士会

日時：2017年11月17日 10:00～12:00（Max：20分×6件＝120分）

場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）901号

(1)の業務体験発表会とは別に、企業・協会等の「技術広告」を目的とした発表とし、同日に開催する。

(3) 講師派遣

地区診断士会等からの研修会・講演会等の講師派遣要請に対して、講師の紹介や、適任者を選定し派遣する。

(4) 受託業務対応

建造物の維持管理等の受託業務（定款第3条（4））への対応は、受託の可否を含めて基本方針を検討する。

要請があった場合にはリスク等を十分考慮し、慎重に対応する。

(5) 関連委員会等へ参加

現在参加している JCI のサステナビリティ委員会に引き続き参加し情報共有と、当会としてできる範囲で支援を行う。

土木研究所構造物メンテナンスセンターのシーザー技術交流会へ参加し、情報の共有化に努める。

2016 年 12 月に参画した「インフラメンテナンス国民会議」(2016 年 11 月 28 日設立)に引き続き参画し、メルマガなどを通して情報の共有化を図る。

(6) 技術情報収集と会員への共有化

会員からの技術情報やトピックス等を募集し、全会員への有用な情報を提供する。

行政、学会、JCI などの主なトピックス、各地区で実施している取組み、新聞記事等の情報を共有化する。

広報部会と協働してメールかわら版の発行を支援する。

(7) コンクリート診断士受験者支援と診断士の資格所有者に対する技術力向上支援等への対応

社会的な期待に応えるべく、診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座などを開催するとともに、各地区での同種講習会の計画に対して、講師推薦・派遣、資料紹介等の支援を行う。

(8) コンクリート診断士技術力向上研修会の開催

2016 年度に引き続き、国交省民間資格登録の業務内容に相応しい、診断業務まで確実にを行うための基礎知識の習得を目的として、「コンクリート構造」および橋梁以外の構造(トンネル)についての研修を実施する。

開催は、地区会が行っている技術研修の一部として取り入れていただくことにする。講師およびテキストは地区に一任するが、診断士 2016 年度試験問題等の過去問題等の利用が考えられる。

なお、適当な講師がない場合は、(3)に示したように、日本コンクリート診断士会からの派遣を検討する。

1.5 広報部会

(1) メールかわら版の発行

- ・ 個人・法人会員へ直接メール送信して、関連情報の共有化を図るメールかわら版を、技術部会と協働して発行する。
- ・ 本年度は 4 回発行を予定している。

(2) ホームページの充実

- ・ 地区診断士会活動紹介、技術情報、催し物情報、特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載する。

(3) 関連官公庁等への PR

- ・ 国土交通省、都道府県、高速道路各社、土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用について PR する。
- ・ 以上、広報部会内で具体的な活動計画を作成し実行する。

(4) 関連催し物の後援

- ・ JCI、関連団体等で実施する本会の目的に合致する催し物を積極的に後援し、認知度向上と関連団体との連携強化を図る。

1.6 会員部会

(1) 地区診断士会の入会を促進する。

(2) 空白地区の診断士会設立促進・支援

- ・ 関西，東北，四国，九州地区の診断士会設立のために引き続き支援活動をする。
- ・ 会員部会が中心となり，企画・広報部会と連携して具体的な計画を検討し実行する。

(3) 個人会員，法人会員増に対する活動

- ・ 診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会への PR を実施する。
- ・ コンクリート診断，補修・補強業務に関係の深い企業に対し，積極的に法人会員へ入会への PR を随時実施し，法人会員の増加を図る。
- ・ 地区診断士会の法人（賛助）会員の，JCD の法人会員への入会を促進する。

1.7 事務局

(1) 会長，副会長，理事間，各部会間，地区診断士会間の連絡調整

会長，副会長，各理事，各部会活動および各地区診断士会活動・連携強化の支援を行う。

(2) 会員管理の充実

- ・ 会員名簿等の会員情報の更新，会員証発行，地区診断士会との調整等確実かつ円滑に実施する。
- ・ 新規入会者に対して 6 月，10 月の 2 回にまとめて会員証を発行する。
- ・ 個人会員証の裏に行動規範要約を印刷し，これを携帯することにより，会員の倫理意識の向上を図る。
- ・ 会員名簿等の個人情報を今まで以上に厳格管理し，漏洩が絶対ない方法を再検討する。

(3) 事務局業務の効率化，簡素化

- ・ 予算管理，確定申告，ホームページ更新等の年間事務局業務を整理し，効率化と経費節減に努力する。

(4) 部会・幹事会活動の支援

- ・ 各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援する。
- ・ 本年度もメールかわら版の発行を支援する。

(5) その他業務

- ・ 当会の目的を達成するための各種業務を実施する。

以上

2. 2017年度収支計画（案）

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）の収支計画(案)を表-2に示す。

表-2 2017年度の収支計画（案）

収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	17年度予算	16年度実績	備考	
収入		前年度繰り越し		1	式	1,340,940	1,340,940		1,340,940	1,278,004		
	1.1	会費	法人会費	SA	0	社	100,000	0	2,765,000	2,641,600		
				A	14	社	50,000	700,000		650,000		
				B	11	社	30,000	330,000		300,000		
				C	51	社	10,000	510,000		480,000		
			個人会費	地区の会	1580	人	800	1,264,000		1,236,800		下記の法人分差引要
				法人分	-50	人	2,200	-110,000		-90,200		法人登録分41名分
				個人分	7	人	3,000	21,000		30,000		
			18年度分	個人分		式				12,000		個人年会費前受金
			入会金	法人分	5	社	10,000	50,000		20,000		
				個人分	0	人	3,000	0		3,000		
	2.1	雑収入	受託業務		1	式	0	0	600,000	837,400		
			受験講座講習会	17年度前受金	1	式	0	0				
	2.2		受験講座講習会		1	式	250,000	250,000		309,000		17.5開催予定
	2.3		直前講座講習会		1	式	0	0		152,200		17年度は開催予定なし
	2.4		講師派遣等		1	式	350,000	350,000		376,200		静岡、長野講習会分
		雑収入2							457,500	381,031		
	2.5		業務発表会参加費		1	式	300,000	300,000		118,000		2000円*130名+4000円*10名
	2.6		講習会28年度分	18年度前受金	1	式	0	0		0		前受金
	2.7		交流会参加費		1	式	157,500	157,500		253,500		総会および業務体験発表会他後
2.8		その他		1	式	0	0		9,450		会員証印刷費	
2.9		受取利息		1	式	0	0		81			
								計	5,163,440	5,138,035		
支出	4	運営費	事務費						1,887,000	1,624,472		
	4.1.1		事務局人件費	12	式	100,000	1,200,000	1,061,970				
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000	360,000	360,000				
	4.1.4		資料作成費等	1	式	10,000	10,000					
	4.1.5		事務用品費	12	式	2,000	24,000	9,043				
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000	60,000	60,000				
	4.1.7		通信費	12	式	6,000	72,000	49,033			電話代も含む。TCD負担分補正済	
	4.1.8		荷造り送料	1	式	5,000	5,000	1,188			宅急便他	
	4.1.9		会員証作成費	150	枚	20	3,000	3,000			定期発行は5年に1回	
	4.1.10		振込手数料他	1	式	3,000	3,000	3,158				
	4.1.11		租税公課	1	式	0	0	10,000			印紙代(定款更新用)	
	4.1.12		その他	1	式	150,000	150,000	70,080			ノートパソコン、ソフト他	
	4.2		総会費						169,000	194,138		
	4.2.1		総会講師費	1	式	35,000	35,000	35,000				
	4.2.2		資料印刷費	80	部	500	40,000	38,718				
	4.2.3		椅子他費用	1	式	19,000	19,000	23,220				
			その他	1	式	75,000	75,000	97,200			総会後交流会分:3500*20人他	
	4.3		行事費						300,000	250,478		
	4.3.1		業務発表会	1	式	300,000	300,000	86,478			資料印刷費、会場費他	
	4.3.2		セミナー費	1	式	0	0	0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.3		見学会費	1	式	0	0	0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.4		交流会費	1	式	0	0	0	164,000		交流会は東海主催とする	
	4.4		宣伝広告費	1	式	50,000	50,000	50,000		201,096		
	4.4.1		HP改造費			0	0	146,880				
	4.4.2		パンフレット改訂費			0	0	54,216				
	4.5		活動費						255,000	129,473		
	4.5.1		理事会他	1	式	70,000	70,000	65,743			部会長会議関係含む	
	4.5.2		理事会資料他	1	式	5,000	5,000	4,940				
	4.5.3		部会活動費	6	部会	30,000	180,000	58,790				
	4.6		役員活動交通費						494,000	468,850		
4.6.1		事務局交通費	12	月	12,000	144,000	139,230			委員会参加交通費を含む。		
4.6.2		役員活動交通費	1	式	350,000	350,000	329,620			部会長会議、幹事交通費他。		
4.7		受託・講習会関係						560,000	808,688			
4.7.1		外注費	1	式	0	0	0					
4.7.2		受験講座講習会	1	式	240,000	240,000	315,600					
4.7.3		直前講座講習会	1	式	0	0	147,488					
4.7.4		講師派遣	1	式	320,000	320,000	345,600			静岡、長野派遣		
4.8		法人税等						97,600	107,900			
4.8.1		法人所得税	1	式	18,700	18,700	25,500			28年度分に対して課税		
4.8.2		法人地方税	1	式	700	700	1,100					
4.8.3		法人住民税	1	式	20,500	20,500	20,800					
4.8.4		事業税	1	式	6,000	6,000	8,100					
4.8.5		法人市民税	1	式	51,700	51,700	52,400					
4.9		預り金	1	式			0					
5		支出小計						3,812,600	3,785,095			
6		予備費	1	式	1,350,840	1,350,840	1,350,840					
7		合計				5,163,440	5,163,440		5,138,035			
8		収支差額							1,352,940	3/31現在の現金+預金残高		
9		次年度繰越金							1,340,940	繰越金は前受金を差引いた金額		

第3号議案 細則の改訂

項目	改訂前	改訂後
第1章 第2条	(会員の資格) 第2条 会員の資格は、理事会の承認を得た月の初日から有効とする。 <u>ただし、地区の会を通じて入会する場合は、地区の会からの会員名簿が事務局に提出された日をもって会員資格を有効とする。</u> 2 入会の資格を得た会員は、以下の入会金を納付する。ただし、地区の会を通じて入会する場合には入会金は免除する。 (1) 正会員 3,000円 (以下、変更なし)	(会員の資格) 第2条 会員の資格は、理事会の承認を得た月の初日から有効とする。ただし、地区の会を通じて入会する場合は、地区の会からの会員名簿が事務局に提出された日をもって、 <u>および直接本会に入会する場合は事務局の資格確認により会員資格を有効とする。</u> 2 入会の資格を得た会員は、以下の入会金を納付する。ただし、地区の会を通じて入会する場合には入会金は免除する。 (1) 正会員 3,000円 (以下、変更なし)
第3章 第8条	第8条 本会の活動を効果的に運営するために、理事会の決議により部会を設置することができる。 2 部会は企画部会、 総務部会 、技術部会、広報部会、会員部会とする。 3 部会は、部会長および副部会長ならびに部員をもって構成する。	第8条 本会の活動を効果的に運営するために、理事会の決議により部会を設置することができる。 2 部会は企画部会、 総務部会 、 財務部会 、技術部会、広報部会、会員部会とする。 3 部会は、部会長および副部会長ならびに部員をもって構成する。

注) 第3章第8条は、理事会の承認事項であり、2017年度第1回理事会で承認されました。

別紙 1

理事会活動実績（メールによる者の日付は発信日）

- 第 16-01 回 H28.04.07 : ・熊本県コンクリート診断士会講習会の後援について⇒承認
- 第 16-02 回 H28.04.07 : ・細則変更について⇒承認
- 第 16-03 回 H28.04.13 : ・コンクリート診断士受験直前講座開催について⇒承認
- 第 16-04 回 H28.06.03 : ・日本構造物維持再生技術振興支援機構の当会法人会員 C へ入会について
⇒承認 その後入会申込者より取消申請あり
- 第 16-05 回 H28.05.24 : ・総会直前会議（総会審議・報告事項確認等）
- 第 16-06 回 H28.06.03 : ・熊本県コンクリート診断士会の当会へ入会について⇒承認
- 第 16-07 回 H28.06.10 : ・第 7 回定時社員総会，討論会記録について⇒承認
- 第 16-08 回 H28.06.13 : ・高知県診断士会より氏家 勲教授の学会会員について⇒承認
- 第 16-09 回 H28.07.01 : ・JCI サステナビリティ委員会「コンクリートの環境側面に関する
講習会」への後援について⇒承認
- 第 16-10 回 H28.07.22 : ・JCI サステナビリティシンポジウムⅢ—耐震設計における多軸思考—への
後援について⇒承認
- 第 16-11 回 H28.08.03 : ・熊本県コンクリート診断士会講習会への後援について⇒承認
- 第 16-12 回 H28.08.22 : ・日本エルガード協会講演会後援について⇒承認
- 第 16-13 回 H28.08.26 : ・直接個人入会申し込みについて⇒承認
- 第 16-14 回 H28.08.30 : ・コンクリートメンテナンス協会「補修補強に関するフォーラム」後援に
ついて ⇒承認
- 第 16-15 回 H28.11.01 : ・新建新聞社の法人会員 C 入会について⇒承認
- 第 16-16 回 H28.12.09 : ・国交省インフラメンテナンス国民会議へ参加について⇒承認
- 第 16-17 回 H28.12.10 : ・JCI サステナビリティ委員会「コンクリートに環境側面に関する講習
会」後援について⇒承認（報告のみ）
- 第 16-18 回 H28.12.11 : ・JCI サステナビリティシンポジウム「サステナビリティフォーラム
各団体の創造的挑戦」後援について⇒承認（報告のみ）
- 第 16-19 回 H29.01.30 : ・コンクリートメンテナンス協会の法人 C 入会について⇒承認
- 第 16-20 回 H29.01.30 : ・コンクリートメンテナンス協会フォーラム 2017 の後援について⇒承認
- 第 16-21 回 H29.03.10 : ・コンクリート診断士受験直前対策講習会（熊本）後援について⇒承認（報
告）
- 第 16-22 回 H29.03.17 : ・コンクリート診断士受験対策講座開催について⇒承認

別紙 2

幹事会活動実績

- 第 16-1 回 平成 28 年 7 月 23 日（土）16：00～18：00 事務局にて
- ・ 業務体験発表会について
 - ・ 地区診断士会の新規設立状況について
 - ・ ホームページについて
 - ・ JCD パンフレットの修正について
 - ・ かわら版について
- 第 16-2 回 平成 28 年 12 月 3 日（土）16：00～17：00 事務局にて
- ・ 業務体験発表会(11 月 25 日)について。
 - ・ 空白地区診断士会の設立・入会の動きについて。
 - ・ インフラメンテナンス国民会議について
 - ・ JCD パンフレットの修正について
 - ・ 細則等の変更検討について
 - ・ (仮称)「JCD 調査・診断・補修技術発表会」の提案について
 - ・ メールかわら版（第 9 版）について
 - ・ その他：JCI との意見交換会の実施について
- 第 16-3 回 平成 29 年 3 月 25 日（土）16：40～18：00 事務局にて
- ・ 第 10 号メールかわら版について。
 - ・ 第 4 回業務体験発表会・見学会について。
 - ・ 部会長会議について
 - ・ インフラメンテナンス会議の対応
 - ・ その他

報告 (1) 各地区コンクリート診断士会活動報告・計画

(1) 福井県コンクリート診断士会

福井県コンクリート診断士会の概要

- ・ 設 立：平成16年3月26日
- ・ 会員数：正会員 129名 → 内訳
 - 調査・試験 11人
 - 生コン 5人
 - 建設 38人
 - コンサルタント 32人
 - 官公庁 22人
 - コンクリート製品 12人
 - その他 9人
- ・ 学術会員 6名
- ・ 賛助会員(法人) 34社
- ・ 賛助会員(個人) 7名

(平成29年5月8日現在) 官公庁の方の入会率が高い!

これまでの取り組みにより、会員数は着実に増加!

- ・ 受験対策セミナーを毎年開催し、新規入会候補者を捕捉
- ・ 福井県内の登録者名簿を毎年入手し、入会案内書を送付
- ・ プレスやHP、Facebookなどを通じて、活動を見える化

2016年度 主な活動実績

- ・ 研修会 計10回の開催 (見学会・実習5回、座学5回)
- ・ 福井県道路メンテナンス会議への協力
「学生向け現場学習会」の開催
福井県道路メンテナンス会議との協定書の締結 **注目!**
- ・ 福井県土木部・農林水産部への協力、研修会の開催
「土木技術専門研修 総合講座(基礎)」の開催
- ・ インフラメンテナンス国民会議への参画、設立総会に参加
- ・ コンクリート診断士受験対策セミナーの開催 (福井県建設技術公社との共催)
- ・ フクイ建設技術フェアへのブースの出展
- ・ 他地区のコンクリート診断士会10周年記念事業に参画 (静岡・大分県・石川県コンクリート診断士会)

学生向け現場学習会の開催 (平成29年11月14日)

福井県道路メンテナンス会議からの依頼を受け、福井大・福井工大・福井高専の学生さんらを対象とした現場学習会を実橋梁で開催。学生35名が参加。
→ 橋梁点検、非破壊検査、中性化試験などを実習

福井テレビ **福井新聞**

福井県道路メンテナンス会議との協定書を締結

福井県道路メンテナンス会議の構成

国交省・福井県・中日本・西日本高速道路株式会社
福井県内の市町(9市・8町)
福井県道路公社、福井県建設技術公社

協定書(抜粋)

支援の内容

- ・ 定期点検の指導、助言
- ・ 健全度判定の指導、助言
- ・ 措置が必要とされる道路施設の対策方針に関する指導、助言
- ・ 自治体職員への研修の協力

※上記の支援に伴い生じた損害の負担は互いに求めない

2017年度 活動計画

- ・ 研修会の開催 → トンネル点検・診断研修会も開催
- ・ 福井県道路メンテナンス会議への参画・協力
- ・ 教育機関(大学・工業高等専門学校)との協力・連携
- ・ 金沢大学SIPへの協力 **注目!**
「北陸三県のコンクリート診断士会との連携による地元研究者・技術者の人財育成」の取り組み
- ・ インフラメンテナンス国民会議への参画
- ・ コンクリート診断士受験対策セミナーの開催 (福井県建設技術公社との共催)
- ・ フクイ建設技術フェアへのブースの出展

新たな取り組み—金沢大学SIPとの連携の拡大

2015年～ **SIP** (SIP 維持管理・更新・マネジメント技術) 金沢大学SIPへの協力 → 本会から協力研究員を派遣
「コンクリート橋の早期劣化機構の解明と材料・構造的な性能評価に基づくトータルマネジメントシステムの開発」

SIPの出口戦略 ↓ 地域実装支援 SIPの成果を活用

2017年～
北陸地方のインフラ維持管理の統一化・標準化を実現し、地方インフラの問題解決の先駆けに…。全国展開に向けた取り組みも始める。
「北陸三県のコンクリート診断士会との連携による地元研究者・技術者の人財育成」

(2) 鳥取県コンクリート診断士会

地区の会名：鳥取県コンクリート診断士会 第8回JCD定時総会

1. 組織情報

- ・設立年：H17年5月
- ・会員数：H28. 4. 1現在 学会会員2名 正会員46名、
個人賛助会員0名 法人賛助会員17社
- ・テリトリー：鳥取県

2. 2016年度活動報告

テーマ「活用して下さい」から「皆で何かをしよう」

- ・現場見学会の実施（現場経験少ない技術者への現場体験）
- ・JCD業務体験発表会への参加（鳥取県から発信）
- ・山陰両県（鳥取・島根）合同研修会の開催
- ・鳥取県中部地震（平成28年10月21日）後、活動休止

2017/5/24 1

我々鳥取県は 第8回JCD定時総会

日本海から果てまで分の供給

鳥取県庁 鳥取砂丘

大山(指定国定公園)

H28/10/21鳥取県中部地震発生1494万ル

2017/5/24 2

2016年活動状況(現場見学会の実施) 第8回JCD定時総会

2016年活動状況(JCD業務体験発表会の参加)

2017/5/24 3

鳥取県中部地震被災状況(平成28年10月21日発生) 第8回JCD定時総会

2017/5/24 4

3. 2017年度活動計画 第8回JCD定時総会

テーマ「活用して下さい」から「皆で何かをしよう」

- ・現場見学会の実施（経験少ない技術者への現場体験提供）
- ・技術研修会の実施（PC橋・鋼橋技術、トンネル技術研鑽）
- ・JCD業務体験発表会の参加（鳥取県から発信）
- ・発注者とのイベント交流会の実施（今後の担い手発掘）

2017/5/24 5

(3) 島根県コンクリート診断士会

第4回JCO定時総会

地区の会名：島根県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・設立年：H17年6月
- ・会員数：H29.4.1現在 学会会員1名 正会員86名 賛助会員31社
- ・活動地区：島根県

2. 28年度活動報告

- ①通常総会及び研修会(H28.6.4)
- ②診断士試験受験講習会(H28.6.30)講師派遣
- ③岡山県コンクリート診断士会設立総会参加(H28.7.15)
- ④第10回土木技術講習会(H28.9.2)講師派遣
- ⑤山陰両県合同技術研修会(H28.10.1)
- ⑥現場見学会(H28.12.24)
- ⑦新春例会及び技術研修会(H29.2.18)
- ⑧理事会(計4回)
- ⑨公共土木施設コンクリート構造物の点検・診断の支援制度に基づくアドバイザー派遣(H28.7.29~H29.3.1)
9ヶ所の県土整備・事業所の判定会議15回開催

2017/5/24 1

第4回JCO定時総会

3. 29年度活動計画

- ①診断士試験受験講習会(H29.6月中旬)講師派遣
- ②通常総会(H29.6.17)
- ③土木技術講習会(H29.8.25)講師派遣
- ④山陰両県合同技術研修会(H29.9.16)
(特別講演 福岡大学 古賀先生)
- ⑤補修現場等見学会(10月頃予定)
- ⑥技術研修会(11月頃予定)
- ⑦理事会(3~4回予定)
- ⑧新春例会(H30.2.17)
- ⑨公共土木施設コンクリート構造物の点検・診断の支援制度に基づくアドバイザー派遣(H29.6月中旬~H30.3下旬)
9ヶ所の県土整備・事業所の判定会議・点検指導21回開催予定
3名(28年度) ⇒ 7名(29年度)で対応

2017/5/24 2

第4回JCO定時総会

4. 主な特徴等

点検・診断アドバイザー派遣(28年度より実施)

公共土木施設長寿命化の推進を目的とする

- ・点検に要する費用の節約、点検・診断の精度向上、職員の技術向上など直営点検を円滑に実施する体制の整備が必要
- ・的確な修繕工法の選定が困難
- ・健全度判定会において、専門家による技術支援がないなどの課題が多く存在する ⇒ アドバイザー派遣制度の確立

2017/5/24 3

第4回JCO定時総会

専門アドバイザー派遣の流れ

アドバイザー派遣計画に基づき、日程調整の上実施

2017/5/24 4

第4回JCO定時総会

アドバイス内容

アドバイス①：点検実地指導（点検方法、ポイントの伝授）

アドバイス②：診断の難しい箇所の診断指導

アドバイス③：健全度判定に対する助言

- ：Ⅲ、Ⅳの措置対応助言（修繕方法、詳細調査の有無）
- ：修繕等設計業務の選定工法の助言

※ アドバイス①②③に関して、島根県及び市町村が希望するものについてアドバイザーを派遣

※ 橋梁の点検実施指導の他、橋梁以外のコンクリート施設の点検・診断を担当

2017/5/24 5

(4) 東京コンクリート診断士会

第7回JCD定時総会

地区の会名：東京コンクリート診断士会

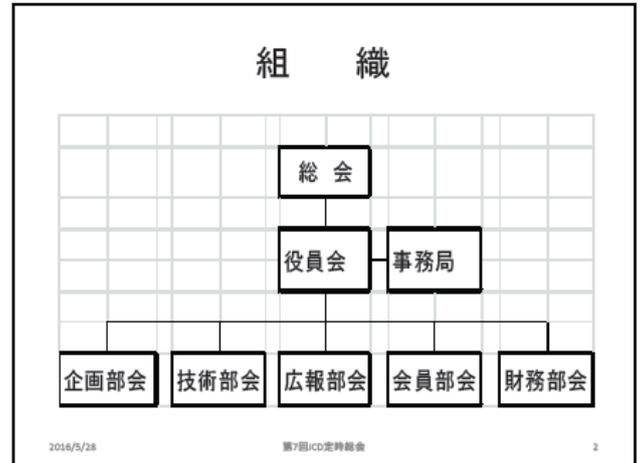
1. 組織情報

- ・設立年：2005年11月11日
- ・会員数：2017年4月1日現在 学会会員3名 正会員196名、賛助会員9名 個人会員計208名
法人会員制度なし
- ・テリトリー：東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、群馬県、栃木県、山梨県

2. 特徴

- テリトリーが広い
- 会員が増えない
- 一年ごとに地区診断士会と共同で現場見学会開催
- 役員がJCD幹事兼任
- 技術セミナーで法人会員の保有技術紹介

2016/5/28 1



2. 2016年の活動報告

総会：2016年5月24日 於：コンクリート工学会

技術セミナー：2016年8月2日（第20回）

- ・3D スキャナーによる構造物計測技術：㈱アサノ大成基礎E 吉田三郎部長
- ・ドローンの活用によるコンクリート構造物の点検診断：千葉大学 野波健雄特別教授
- ・コンクリート構造物の品質確保に向けた取り組み：
横浜国立大学 都市イノベーション研究院 小松伸史助教
- ・法人会員の技術紹介：ポリマーセメントモルタルを用いた構造物補強・補修
㈱前田工機 内田明嗣
- ・コンクリート構造物の点検・診断に役立つ構造物の話を(2)：
㈱テクノミネット 峰松敏和

現場見学会：2016年9月27日 首都高速道路4号新宿線千駄ヶ谷駅付近 昭和39年に建設されたPC上部工の補強工事を見学

2016/5/28 第7回JCD定時総会 3

技術フォーラム：2016年10月24日

- ・電気防食の維持管理における課題抽出を目的とした構築調査：
㈱ナカボータック 大島高雄
- ・叩き点検を代替する技術について：佐藤工業㈱ 取川紀之
- ・軍艦島の構造物劣化状況報告：㈱C&R コンサルタント 毎田敏郎
- ・コンクリート構造物の維持管理に関する技術開発の現状と サステナビリティ：
木村技術士事務所 木村克彦
- ・ひび割れと歩んだ45年：㈱C&R コンサルタント 小野定

技術研修会：2017年3月2日

- ・山岳トンネルの施工法、変状と点検・診断、補修・補強：
㈱アサノ大成基礎エンジニアリング 毎田敏郎
- ・コンクリート構造物の診断に必要なコンクリート構造物力学：
(有) テクノミネット 峰松敏和
- ・PC 構造物の基礎から PC 特有の変状と点検・診断、補修・補強：
東京コンクリート診断士会 会長 小野定

TCD千葉セミナー設立に向けての活動

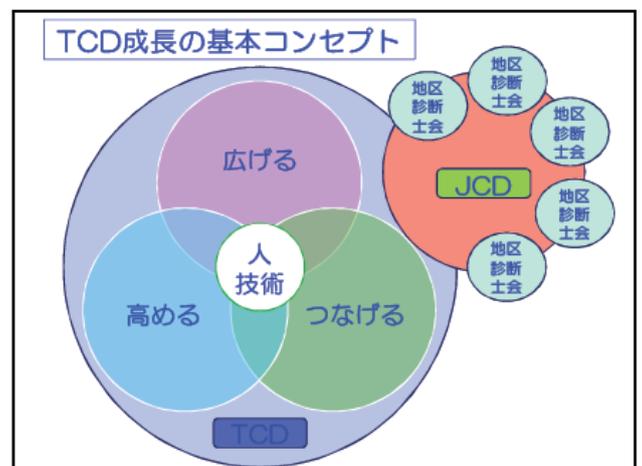
- ・3月15日に設立に向けての活動の一つとして「技術セミナー」を開催した。

2016/5/28 第7回JCD定時総会 4

2017年度の事業計画

1. 定時総会：2017年5月24日 コンクリート工学会
2. 技術セミナー（維持管理特集）：2017年7月
3. 技術フォーラム（体験発表）：2017年10月
4. 技術研修会（構造・トンネル）：2018年2月
5. 現場見学会：2017年11月、東海診断士会と共催
6. 広げる つなげる 高めるための10年計画の実施

2016/5/28 第7回JCD定時総会 5



(5) 石川県コンクリート診断士会

第8回ICD定時総会

石川県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・ 設立年：平成18年6月（活動歴11年）
- ・ 会員数：H29.4.1現在
正会員96名
賛助会員11名
法人会員12社
- ・ 活動地区：石川県



石川県ICD診断士会・会員の所属業種分類

業種	人数	割合
建設業	28	29.2%
製造業	20	20.8%
建設業(その他)	14	14.5%
建設業(その他)	14	14.5%
建設業(その他)	14	14.5%



ICD活動レポート掲載の日は、その年の活動報告です。

1

第8回ICD定時総会

2. H28年度活動報告

- 6月 総会&講演会「衝撃作用を受ける構造物の性能設計について」
コンクリート診断士受験講座
- 8月 県土木企画「土木を一般にPRする取組み」への協力
- 9月 技術講習会「コンクリート構造物における補修・補強技術」
- 10月 現場見学会「日野川橋床版取替工事現場見学」
- 11月 設立10周年記念式典・講演会・祝賀会
現場見学会「女原大橋、百合谷川堰堤点検業務見学」
- 12月 県職員研修会講師「コンクリート構造物の維持管理」
- 3月 会員による診断事例発表会

2

第8回ICD定時総会

H28年度活動報告

- ・ 石川県土木企画「土木を一般にPRする取組み」



3

第8回ICD定時総会

設立10周年記念式典・講演会・祝賀会



4

第8回ICD定時総会

3. H29年度活動計画

- 1) 定期総会&特別講演会
- 2) 技術講習会
- 3) 現場見学会
- 4) 会員による診断事例発表会
変状事例写真による参加者全員によるケーススタディを予定。
- 5) 県土木PRイベント協力
好評につき、今年もオファーあります。
- 6) 県職員研修会講師派遣
- 7) コンクリート診断士受験講座

5

第8回ICD定時総会

4. その他

- ◆ ICD活動レポート発行（A4版、会員へメール送信）
 - ・ 活動報告および最新情報・ニュース
 - ・ 会員の自社技術紹介
(昨年は発行3回と頻度が少なかった。)
- ◆ 作成した参考資料
 - ・ 誰でもできる「セメントプランターの作り方」
 - ・ 小学生でもわかる「コンクリートとは？」
- ◆ ステッカーを作成しました。
ヘルメットに貼ります。



6

(6) 大分県コンクリート診断士会

地区の会名：

特定非営利活動法人
大分県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・設立年：H18年8月
- ・会員数：74名（法人会員 0社）
- ・活動地区：大分県

1

2. 平成28年度活動報告

- ・受験対策講座
- ・通常総会（第11回）
- ・大分県 業務体験発表会
- ・現場見学会…1現場、1工場
- ・技術講演会（第21回）参加者193名
- ・大分県建設技術センターとの協働

3. 平成29年度活動計画

- ・H28年度と同様の活動を計画

2

総会（業務体験発表会・交流会）



発表会の様子
（総会後に実施）

来賓を迎えて
交流会



3

現場見学会 ニールセンローゼ桁橋とPC工場を見学



技術講演会



10周年記念行事
JCD林会長による講演
（会員向け）

一般参加者向け
講演会の様子
（出席者193名）



5

大分県建設技術センター



公益財団法人の専門技術研修を共催
（講師は当会より派遣）

会員相互の交流を目的とした活動多数実施

6

(7) 青森県コンクリート診断士会

青森県コンクリート診断士会
 平成28年度活動報告
 及び
 平成29年度活動計画(案)

・平成28年度 会員数
 顧問 2名
 (八戸工業大学 月永教授・阿波教授)
 会員 52名
 (日本コンクリート診断士会 法人会員1名含む)

※県別内訳 青森県在住 43名 秋田県在住 2名 岩手県在住 1名 宮城県在住 4名 東京都在住 2名	※業種別内訳 役所: 2名 建設: 14名 コンサル: 8名 生コン: 15名 二次製品: 4名 その他: 9名
--	--

・平成28年度 活動報告
 ◎総会 (H28.5.17) 31名参加
 ①H27年度活動報告及びH28年度活動計画審議
 ②H27年度収支決算報告審議
 勉強会 (H28.5.17)
 ①コンクリート構造物の品質確保に関する最近の動向
 阿波顧問
 ②国土交通省「技術者資格登録」と
 JCI年次大会2017仙台に関して
 奈良
 ◎コンクリート診断士受験直前講習会 (H28.7.7) 10名参加
 講師: 戸田靖彦氏
 ◎青森県及び市町村技術職員対象の建設材料講習会
 (H28.8.24) 28名参加
 講師: 奈良裕・芳賀光幸
 ◎JCI東北支部主催
 「診断士の技術研鑽のための講習会」 於: 八戸市
 (H28.10.28)
 八戸自動車道大規模補修現場見学
 東北地区より診断士43名参加
 (青森県診断士会から7名参加)

◎勉強会開催 (H28.12.14) 15名参加
 ①JCI東北支部主催「診断士の技術研鑽のための講習会」
 八戸自動車道大規模補修現場見学
 実施概要説明
 ②日本コンクリート診断士会主催業務体験発表会
 参加報告
 以上

・平成29年度 活動計画(案)
 ◎総会 (H29.5 開催予定)
 於: 青森県県民福祉プラザ
 ◎勉強会開催-
 年2回は診断業務に関する勉強会を実施する。
 できれば津軽・南部地区での開催予定。
 ◎JCI東北支部との連携強化
 JCI東北支部との連携を強化する。
 JCI東北支部の総会 (H29.5 開催予定)への参加
 JCI2017 仙台開催の年次大会 (H29.7.22)への参加
 JCI東北支部 研修委員会主催
 「コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会」
 (H29.10 開催予定)への参加

◎日本コンクリート診断士会との連携強化
 日本コンクリート診断士会との連携を強化する。
 日本コンクリート診断士会の理事会・総会
 (H29.5 開催予定)
 奈良出席予定
 ◎会員の増員へのPR
 青森県コンクリート診断士会の会員を増員するように
 PR活動を強化する。
 青森県内の診断士に限らない。
 ◎HPの積極的活用
 以上

(8) 静岡コンクリート診断士会

静岡コンクリート診断士会
Shizuoka Concrete Diagnosis Association

静岡コンクリート診断会 (SCD) の紹介

【発 足】 2006年12月に設立。昨年設立10周年を迎える。

【会 員】 正会員79名 賛助会員19組織 (※発足時は16名 4組織)

【設立目的】 ①診断士各人の更なる知識の研鑽や倫理性の向上
②他地区の診断士会やJCDとの連携による組織の活性化
③コンクリート診断を通じての社会的貢献

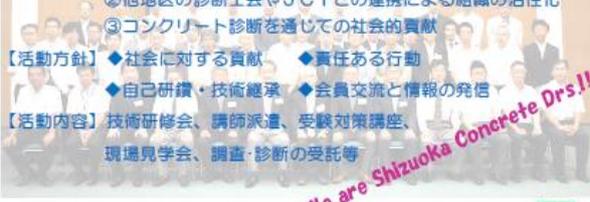
【活動方針】 ◆社会に対する貢献 ◆責任ある行動
◆自己研鑽・技術継承 ◆会員交流と情報の発信

【活動内容】 技術研修会、講師派遣、受験対策講座、
現場見学会、調査・診断の受託等

2017年5月24日 JCD定時社員総会

We are Shizuoka Concrete Drs!!





【2016年度活動報告 技術研修会①】

コンクリート構造物の調査・診断技術研修会

日時：平成28年 6月24日
場所：静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ
参加者：133名 (行政関係者67名、会員66名)

【コンテンツ】 ◆設立10周年記念講演

講演1.「インフラストラクチャマネジメントと技術開発」
講師：横浜国立大学 先端科学高等研究院
上席特別教授 藤野陽三 様

講演2.「RC造建築物の耐震設計とコンクリート技術
濃尾地震から125年」
講師：JCD会長 林 静雄 様

講演3.「コンクリート構造物の長寿命化と維持管理」
講師：TCD会長 小野 定 様

講演4.「コンクリート床版防水の現状と今後の展望」
講師：施工技術総合研究所 部長 谷倉 泉 様





【2016年度活動報告 技術研修会②】

静岡コンクリート診断士会2016年秋の研修会

日 時：平成28年 10月21日
場 所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
参加者：33名 ※会員限定

【事例発表】

1.「ドローン技術を活用した新たなインフラ点検の提案」
信建材工業㈱ 代表取締役 石田 敦則 様

2.「1DAY PAVE コンクリート舗装工事施工報告」
静和工業(株) 望月 元一 氏
※2016年11月25日、
この事例をJCDの事例発表会にて発表

3.「マスキングの初期欠陥対策とその効果について」
(株)中村組 富士見 飛鳥氏





【2016年度活動報告 講師派遣】

①平成28年度静岡県土木技術職員 主査・副班長級研修 参加者：25名

日時：平成28年 6月29日
場所：静岡県建設技術監理センター研修室
現場の品質確保～コンクリートのひび割れを防ぐ～
・「コンクリート構造物の劣化と良いコンクリート」
派遣講師：天野智雄 ((株)フタバコーケン所属)
・「コンクリート構造物の初期欠陥」
派遣講師：仁科 恵 (中村建設(株)所属)

②平成28年度静岡県土木技術職員 斜面对策研修 参加者：30名

日時：平成28年10月23日
場所：静岡県建設技術監理センター研修室
～コンクリート擁壁工の維持管理～
・「擁壁の設計と施工および維持管理」
派遣講師：仁科 恵 (中村建設(株)所属)




【2016年度活動報告 受験対策講座・ブラッシュアップ講座】

コンクリート診断士受験対策講座 ※JCD共催

日時：平成28年 5月17日・18日 参加30名
場所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
講師：・SCD会員 (体験談発表)
・峰松 敏和 (日本コンクリート診断士会)
コンクリート診断士、技術士、工学博士
・木村 克彦 (日本コンクリート診断士会)
コンクリート診断士、技術士、工学博士

【2016年度活動報告 現場見学会】 雲見大橋電気防食工事見学会

日時：平成28年12月20日 場所：静岡県賀茂郡松崎町地内雲見
内容：・電気防食工事の施工概要説明
・伊豆雲見大橋の維持補修現場見学

参加20名





静岡コンクリート診断士会
Shizuoka Concrete Diagnosis Association

2017年度 活動計画

◆5月期 ・受験対策講座・ブラッシュアップ講座 開催

◆6月期 ・静岡県土木技術職員研修へ講師派遣
・年次総会 開催
・第1回技術研修会 開催

◆10月期 ・現場見学会の実施
・第2回技術研修会(会員対象) 開催
・静岡県土木技術職員研修へ講師派遣

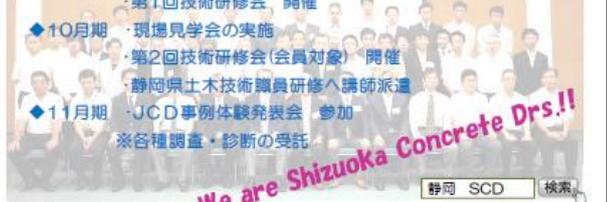
◆11月期 ・JCD事例発表会 参加
※各種調査・診断の受託

We are Shizuoka Concrete Drs!!

静岡 SCD 検索

2017年5月24日 JCD定時社員総会





(9) 高知県コンクリート診断士会

第7回JCD定時総会

地区の会名：高知県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・設立年：H20年8月
- ・会員数：H29. 4. 1現在 学会会員4名 正会員35名、
賛助会員0名 個人会員計35名 法人会員5社
- ・活動地区：高知県、

2. 28年度活動報告

➢ 総会の開催 H28. 6. 25 (27名出席)

勉強会の開催(総会時)

内容
「台湾美濃地震熊本地震現地調査からの教訓」
 榎第一コンサルタンツ：右城 猛
「橋梁の点検、診断に必要な橋梁工学(鋼材を主体)」
 榎第一コンサルタンツ：前田 秀夫

2016/5/28 1

➢ 役員会の開催：7~8回/年

➢ 現場見学会

H28. 7. 29：和食ダム見学会 (20名出席)
形式：重力式コンクリートダム
ダム高：51.0m 堤頂長：121.5m 堤頂幅：4.0m
ダムコンクリート体積：63,800m³
ブレーキングによるマスコンクリート対策等を実施



➢ 日本コンクリート診断士会全国総会への参加
H.28.5.24 原田会長出席

2016/5/28 第7回JCD定時総会 2

第7回JCD定時総会

- ・第4回コンクリート診断士受験対策講座
H28. 6. 4(土)・6. 5(日) 受講者24名
講師：氏家勲(愛媛大学大学院教授)、渡辺健(徳島大学
大学准教授)、横井克則(高知高専教授)、近藤拓也(高知
高専准教授)
- ・平成27年度高知県土木施工管理技士会研修会
H28. 6. 18(土)~7. 9(土) 講師派遣2名
- ・高知県土木職員基礎研修会
H27. 8. 5(金) 講師派遣 1名
- ・J C I 四国支部 コンクリート構造物インフラ
ドックの実現に向けた調査研究委員会
期間：H27~H28の2年間
本年度は四国の地方自治体へのインフラ構造物の維持管理
の現状調査を行い報告予定である。
委員として原田会長・横田副会長参加

2016/5/28 3

第7回コンクリート技術研修会
H28. 9. 23(金)/ サンビアシリーズ 参加者230名
講師陣：田村隆弘(徳山高専副校長/高専機構研究・産学連携
推進室室長)、二宮純(西日本高速道路エンジニアリング中
国株)、湯佐昭二(国土交通省)、依光功朗(高知県土木部)



田村教授 二宮氏 湯佐氏 依光氏

- ・第4回業務体験発表会
H28. 11. 23(金) J C I 会議室
「高知県における構造物長寿命化に向けた取り組み」
堤 貴司 原田会長

2016/5/28 第7回JCD定時総会 4

2017年度活動計画

- ・日本コンクリート診断士会全国総会への参加
5月24日(木)
- ・2016年度コンクリート診断士受験対策講座
6月3日(土)・6月4日(日)の2日間
講師陣：氏家勲(愛媛大学大学院教授)、渡辺健(徳島大学
大学院准教授)、横井克則(高知高専教授)、近藤拓也(高知高専
教授)等予定
- ・通常総会
6月24日(土)

2016/5/28 第7回JCD定時総会 5

2017年度活動計画

- ・現場見学会
5月中旬
領地第二橋梁：高知県須崎市領地
鉄筋コンクリート開腹アーチ橋
(H16土木学会推奨土木遺産に選定)
- ・第8回コンクリート技術研修会
9月15日(金) サンビアシリーズ
- ・設立10周年研修会計画(平成30年度)
- ・高知県土木施工管理技士会研修会講師派遣



2016/5/28 第7回JCD定時総会 6

(10) 京滋コンクリート診断士会

第8回JCD定時総会

地区の会名:京滋コンクリート診断士会(KSCD)

1.組織情報
 ・設立年:H20年8月(現在第9期目)
 ・会員数:H29.4.1現在 正会員63名、専門会員14名、一般会員13名 計90名
 賛助会員18社
 ・主たる活動エリア:京都府、京都市、滋賀県、大阪府他

2.第9期事業方針
 ・方針①計画的にイベントを開催する。
 →年間の事業計画を作成し、イベントの回数、内容を会員目線に立てて検討する。
 →滋賀県で年に1回は開催する。
 →顧問の先生に2年に1回程度講師をしていただく。
 →今年度から新年会を開催する。(京都駅前ピアレストラン)日程を早めに決める。

・方針②会員を2割増やす。
 →特に滋賀県の会員を増やす。

・方針③調査・検査分野の技術革新
 →レーザーや3Dなど技術革新が目まぐるしい。会員が診断士会に入って良かったと思えるような情報を提供していくために、新技術のイベントも取り入れる。
 →会員に研修会で希望する講師や内容についてアンケートをとる。

2017/5/24 1

第8回JCD定時総会

京滋コンクリート診断士会(KSCD)

3.方針①施策 第9期事業計画(H28.10~H29.9)

No.	イベント	企画概要	講師・講演依頼	場所
1	第19回研修会 (都合同時開催H28.10.28)	建築の顧問である田中先生に「コンクリートと我が半世紀」についてご講演いただいた。	京都大学田中先生(本会顧問)	学芸出版社
2	JCD最新体験発表会 (東京開催H28.11.25)	JCDとの交流	講演組:山崎氏 EPAハイム:藤江氏	JCI東京
3	新年会~賀詞交換会~ (H29.1.18)	会員間の親睦を拡げる・深める	-	スーパードライ 京都駅前
4	第12回現地見学会 (H29.4.17)	日本最古のコンクリートダム 現地見学	京都大学河野先生 (本会顧問)	布引貯水池 (新神戸)
5	第20回研修会 (7月末開催予定)	最新の技術知見共有	金沢大学鳥井先生 京都大学釜江先生	京都建設会館
6	第21回研修会 (10月末締め会時)	調査・検査分野の技術革新	未定	追分県 (南草津駅前)
☆役員会(毎月1回)				

2017/5/24 2

第8回JCD定時総会

京滋コンクリート診断士会(KSCD)

4.方針②施策 HP改良・Facebook創設

2017/5/24 3

第8回JCD定時総会

京滋コンクリート診断士会(KSCD)

5.第9期活動報告~総会・第19回研修会~

本会役員の選任は以下のとおり承認されました。敬称略
 名誉会長:長谷川光弘 会長:高井俊二 副会長:山口俊夫 理事:中務謙正 理事:辻 景介
 事務局長:岸川英樹 事務担当:衣川直紀 監査役:高木英二
 今期からは上記のメンバーで会の運営に携わりますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

高井会長

2017/5/24 4

第8回JCD定時総会

京滋コンクリート診断士会(KSCD)

5.第9期活動報告~賀詞交換会・現地見学会~

2017/5/24 5

第8回JCD定時総会

京滋コンクリート診断士会(KSCD)

6.~ご報告~長谷川名誉会長

本会の立ち上げから発起人としてご尽力され、8年間会長を務めあげられた長谷川名誉会長が、去る平成29年5月2日にご病氣によりご永眠されました。

長谷川名誉会長の意思を引き継ぎ、座右の銘を肝に命じて、今後も診断士会を持続させていかなばと思っております。

今後とも京滋コンクリート診断士会をよろしく願いたします。

長谷川名誉会長 座右の銘
 緑の四原則:姿勢・表情・言葉・行動
 努力の四原則:迅速・丁寧・継続・忍耐

第1回現地見学会 琵琶湖疎水_開渠
 _長谷川撮影より

2017/5/24 6

(11) 新潟県コンクリート診断士会

第6回JCD定時総会

地区の会名:新潟県コンクリート診断士会

1.組織情報

- ・設立年:H20年10月
- ・会 長:新潟工科大学名誉教授 地濃 茂雄
- ・会員数:H29.4.1現在 学会会員2名 正会員112名, 賛助会員7名 個人会員計119名 法人会員16社
- ・エリア:新潟県
- ・正会員の業種別構成比

2017/5/24 1

第7回JCD定時総会

2. 2016年度活動報告

2.1 通常総会

日 時:平成28年6月27日(月)

参加者:正会員他 73名

講演会:「社会資本の長寿命化対策」
講師:森岡弘道氏(国土交通省・災害調査官)

2.2 現場研修会

(1) 第1回(村上新発田地区)

日 時:平成28年8月30日(火)

対象施設:国道345号沿線のコンクリート構造物他

参加者:正会員他 27名

2016/5/28 2

第7回JCD定時総会

(2) 第2回(糸魚川地区)

日 時:平成28年11月15日(火)

対象施設:国道8号沿線のコンクリート道路橋

参加者:正会員他 17名

写真-1 村上地区現場見学会 写真-2 糸魚川地区現場見学会

2016/5/28 3

第7回JCD定時総会

2.3 技術セミナー

(1) 第1回セミナー

日 時:平成28年10月28日(月)

テーマ:村上新発田地区現場見学会報告及び意見交換

参加者:正会員他 43名

(2) 第2回セミナー

日 時:平成29年2月24日(月)

テーマ:糸魚川地区現場見学会報告及び意見交換

参加者:正会員他 54名

2016/5/28 4

第7回JCD定時総会

2.4 その他

- (1) 役員幹事会の開催 8回
- (2) 外部機関への講師派遣 2回
新潟県土木部主催技術研修会
新潟県建設技術センター主催技術講習会
- (3) 外部団体勉強会等への参加 6回
橋梁技術講演会:建設コンサルタンツ協会北陸支部主催
生コン勉強会:三蒲地区生コンクリート協同組合主催
コンクリート技術講習会:㈱プロダクト技研主催
- (4) 既往講演会等の技術資料をとりまとめた冊子発刊
(新潟県建設技術センター助成事業)
- (5) 親睦ゴルフコンペの開催 1回

2016/5/28 5

第7回JCD定時総会

3. 2017年度活動計画

- 通常総会の開催 1回 平成29年6月
- 現場見学会の開催 2回 平成29年8月・10月(予定)
- 技術セミナーの開催 2回 平成29年9月・12月(予定)
- 技術講演会の開催 2回 開催時期未定
- 役員・幹事会の開催 随時
- 外部機関講習会等への講師派遣 随時
- 外部団体勉強会への参加 随時
- 親睦ゴルフコンペの開催 1回

2016/5/28 6

(12) 北海道コンクリート診断士会

第8回JCO定時総会

地区の会名：**北海道コンクリート診断士会**

1. 組織情報

- ・設立年：平成21年1月
- ・会員数：H29.4.1現在 正会員117名、賛助会員・個人6名
賛助会員・法人25社
- ・活動地区：北海道

2. 平成28年度活動報告

(1)第8回通常総会：平成28年4月27日（水）13：30～

- ・議案-1 平成27年度事業報告
- ・議案-2 平成27年度収支決算
- ・議案-3 平成28年度事業計画(案)
- ・議案-4 平成28年度収支予算(案)
- ・議案-5 役員の退任について
(出席者 114名 ※委任状含む)

2017/5/24 1

第8回JCO定時総会

(2)特別講演会：平成28年4月27日（水）14：50～

- ・演題 「コンクリートへの期待を担って」
- ・講師 北海道大学名誉教授 佐伯 昇 氏
(出席者 47名)

(3)診断士普及講習会：平成28年6月6日（月）9：30～

- ・内容 「コンクリート診断技術と診断士試験過去問題の演習・解説」
- ・講師 日本データサービス(株) 木村 博史 氏
北海道コンクリート診断士会事務局 大内
(出席者 18名)

2017/5/24 2

第8回JCO定時総会

(4)診断技術基礎講座：平成28年8月2日（月）13：30～

- ・演題 ①「コンクリート構造物の劣化・変状」
②「コンクリート構造物の調査・診断技術」
- ・講師 ①日本データサービス(株) 木村 博史 氏
②北海道コンクリート診断士会事務局 大内
(出席者 18名)

(5)技術研修会-1：平成28年9月14日（水）13：30～

- ・演題 ①「コンクリート内部探査における最新の非破壊検査技術の進化と多様化」
②「既存コンクリートに対する非・微破壊試験の適用」
- ・講師 ①K Y E T E C (株) 安藤 康志 氏
②北海学園大学工学部 准教授 山本 紀彦 氏
(出席者 33名)

2017/5/24 3

第8回JCO定時総会

(6)技術研修会-2：平成28年11月1日（火）13：30～

- ・演題 ①「コンクリート構造物の補修工法」
②「RFIDを活用した鉄筋コンクリート構造物診断技術」
- ・講師 ①住友大阪セメント(株) 沖原 直生 氏
②太平洋セメント(株) 江里口 玲 氏
(出席者 30名)

(7)広報活動

1) 外部講師（講師 北海道コンクリート診断士会事務局）

①「北海道農業建設協会 現場技術者施工技術セミナー」
平成28年2月18日（木）13:00～（出席者 150名）

- ・内容 「コンクリート構造物の耐久性および維持管理の実施例」

2017/5/24 4

第8回JCO定時総会

②「（一社）空知建設業協会 H28現場技術研修会」
平成28年4月5日（木）14:00～（出席者 100名）

- ・内容 「コンクリート構造物の補修・補強工法」

③「道路工業(株) 現場技術者施工技術向上セミナー」
平成28年4月12日（火）9：00（出席者 75名）

- ・内容 「良いコンクリート構造物を造るための施工と管理」

④、⑤、⑥「（一社）室蘭建設業協会 実務講習会」
平成28年5月10日、6月7日、6月22日（出席者 各80名）

- ・内容-1「仮設土留め工」
- ・内容-2「コンクリート構造物の基礎力アップ」
- ・内容-3「土質工学の基礎力アップ」

2017/5/24 5

第8回JCO定時総会

2) 後援（第三者社会基盤技術評価支援機構・北海道）

①「11周年記念セミナー」
平成28年 9月 5日（月）13:00～

②「平成28年度北大キャンパスで学ぶ市民講座」
平成28年10月25日（火）18:00～

3. 29年度活動計画

①研修会、②現場研修会、③総会・講演会、④普及講習会、
⑤外部講師派遣、⑥技術部会・広報活動・後援等

・事業計画工程表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H29	下旬	下旬	下旬	29日	下旬	下旬	中旬	上旬
	③総会	④⑤	①	試験	①	②⑥	⑥	①

2017/5/24 6

(13) 東海コンクリート診断士会

第8回JCD定時総会



MAG CD 東海コンクリート診断士会
 Mie Aichi Gifu Concrete Diagnosis 一般社団法人日本コンクリート診断士会東海支部
 東海コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・設立年： H22年6月
- ・会員数： H28.5.19現在 学会会員1名 正会員81名、
賛助会員27名 法人会員10社
- ・活動地区： 三重県、愛知県、岐阜県



4

第8回JCD定時総会

2. 平成28年度活動報告

- ・4月8日 東海コンクリート診断士会・MEの会合同研修会 (CPDS 3unit)

(1) 「コンクリートの補修材と最新工法について」
 (住友大阪セメント㈱ 宮野 暢広 様)

(2) 「MEの会 東濃地域部活動事例 道路支援/パトロールを実施して」
 (MEの会東濃部会長 井上 雅王 様)

(3) 「プレストレスコンクリートの基礎、PC構造物の劣化と補修」
 (安部日鋼工業㈱ 井上 誠 様)

(4) 「技術者はコンクリート構造物のどこを診て維持管理すべきか」
 (北武コンサルタント㈱ 副社長 渡辺 忠朋 様)

参加者:59名(東海35名、MEの会19名、一般5名)



5

第8回JCD定時総会

2. 平成28年度活動報告

- ・5月27日 定時総会 特別講演実施

【特別講演】

①コンクリート構造物の調査点検の課題
 ②コンクリート維持管理の補修補強工事の課題の留意点

講師 青木あすなる建設株式会社
 執行役員 技術研究所所長 牛島 栄 様

参加者:33名、正会員59名、賛助会員5名(委任状34名)



4

第8回JCD定時総会

2. 平成28年度活動報告

- ・6月29日 コンクリート診断士受験対策講座 (CPDS 3unit)
- ・10月 3日 MAGCD業務体験発表会 6件発表 (CPDS 3unit) (プログラム)

1)表面波トモグラフィを用いたコンクリート構造物の補修効果確認
 一般財団法人東海技術センター 奥出 信博 様

2)非破壊試験による強度推定、配筋状態およびひびくぶり測定の実例発表
 一般社団法人三重県建設資材試験センター 田中 真一 様

3)デンカの劣化診断技術と最新の補修材料
 デンカ株式会社 徳原健太郎 様

4)トンネル壁面変状の走行自動撮影システムの紹介
 株式会社中部EEN 鎌田 周祐 様

- ・11月25日 JCD業務体験発表会(東京会場)参加(1件発表)

5

第8回JCD定時総会

3. 平成29年度活動計画

- ・定時総会 (5/25予定)

【特別講演】『トンネル変状の発生要因と着目点(山岳道路トンネルを対象に、矢板工法とNATMによる覆工部の不具合が生じる要因と点検の着目点)』
 (講師) 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京㈱
 チーフエンジニア(トンネル担当) 中田雅博 様

- ・平成29年度 コンクリート診断士受験対策講座 (6/12予定)
- ・平成29年度 MAGCD業務体験発表会 (8/24予定)
- ・平成29年度 JCD業務体験発表会 愛知会場 (11/17予定)
 ・愛知県産業労働センター(ウイングあいち)
- ・平成29年度 東京・東海診断士会 合同現場見学会 (11/18予定)
 ・三重 新名神高速道路 鈴鹿高架橋他1橋(PC上張り)工事見学 他

2018/5/28 5

第8回JCD定時総会

4. その他活動について

JCD本部の活動目的の他、下記の様な活動も意識して行っています。

- ・三重県・愛知県・岐阜県と3県に跨った組織であるのでバランスを取りそれぞれの地域に根差した活動を行う。
- ・より多くの診断士会の情報を発信し、診断士会の存在感を高め、会員の増員に努める。
- ・会員相互の親睦に関する活動を行う。
- ・JCIおよびJCD本部、その他機関との連絡調整に関する活動を行う。
 (例えばJCI中部支部、MEの会*などとの連携)

*: 岐阜大学 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME)

以上

2018/5/28 5

(14) 長野県コンクリート診断士会

第8回JCO定時総会

地区の会名：長野県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・ 設立年：H22年7月23日
- ・ 会員数：H29. 4. 1現在 学会会員3名 正会員57名、
賛助会員11名 個人会員計72名
法人(正会員2名、賛助会員1名)
- ・ テリトリー：長野県、

2. 2016年度活動報告

- ・ 総会および記念講演
H28年6月11日 メトロポリタン長野
〔記念講演〕モニタリングを含めたコンクリート構造物の診断について

2017/5/24 1

第8回JCO定時総会

総会記念講演

(株)太平洋コンサルタント
田中 秀和氏



RFID腐食環境
検知システム

2017/5/24 2

第8回JCO定時総会

地区の会名：長野県コンクリート診断士会

- ・ 地区診断士会・工組・他団体開催の講習会参加
長野県生コンクリート工組、JCI関東支部長野地区、
技術士会長野
- ・ 新建新聞との共催：診断士受験講座
2月23日～24日 松本市
- ・ 情報の共有
メール情報の発信(15回)、HP活用
- ・ 広報活動
パンフレット、名刺活用

2017/5/24 3

第8回JCO定時総会

関東支部長野地区研修会「高速道補修・補強 現地施工等見学会および温度応力解析勉強会」



各種劣化に伴う補修・補強施
工現場、施工状況等を見学

温度応力解析勉強会



2017/5/24 4

第8回JCO定時総会

地区の会名：長野県コンクリート診断士会

3. 2017年度活動計画

- ・ 技術力・資質向上・情報収集のための活動
研修会開催(総会の記念講演)、各団体の協賛研修会(JCI
関東支部長野地区、長野県生コンクリート工業組合)
- ・ 広報事業、診断士制度発展に貢献するための活動
ホームページ活用、日本コンクリート診断士会および各
地診断士会との連携

2017/5/24 5

第8回JCO定時総会

- ・ 技術の進歩・改善、社会貢献に関する活動
技術向上研修会、現場見学会などの開催、ホームペー
ジへ「Q&A」の活用
- ・ 点検・診断、補修・補強、維持管理に関する事業
各団体との連携(長野コンクリート診断士会、ながのコン
クリート診断士会)
- ・ 会員相互の親睦に関する活動
総会(記念講演)および懇親会(6/10予定)、会員による研
修会催、JCIおよび本部との連絡事務

2017/5/24 6

(15) 広島県コンクリート診断士会



会員数の推移	
設立時会員数	正会員(個人) : 58名(H23設立時) → 92名(H29.4現在) 賛助会員(法人) : 17社(H23設立時) → 26社(H29.4現在)
主な活動成果	
定例サロン開催	: 5回
記念講演開催(総会時)	: 1回
現場研修会	: 生コンクリート工場、コンクリート製品工場視察 中国生コンクリート㈱ 生コンプラント 中国高圧コンクリート工業(株) コンクリートボールの製造工程 キョクトウ高宮㈱ コンクリート2次製品 ランダス㈱ 広島工場 コンクリート2次製品
講師派遣	: 広島市職員向け「コンクリート品質管理講習会」 広島県測量設計業協会主催 「コンクリート診断士受験対策講習会」
ボランティア活動	: 平和の灯 ボランティア健全度調査、高圧洗浄・補修試験
活動成果投稿	: 「平和記念公園 平和の灯 ボランティア調査報告」 コンクリート工学 平成29年4月号

H28年度 定例サロン・講演会の開催状況			
開催日	開催テーマ	講師	
第24回	H28.5.18 コンクリート探偵会 セメントコンクリート投稿報告会 第3回 広島 平和モニュメント 長寿寿命化計画 検討会(平和の灯 調査結果速報会)	ウベコン浜田㈱ 宅和会員 広島県コンクリート診断士会	
第6回総会 記念講演	H28.7.13 コンクリートの持つ多様性の再考 〈環境調和・生物共生、新たな素材創造、白華による景観デザイン〉	立命館大学理工学部 岡本特任教授	
第25回	H28.9.14 「診断士が巡る世界一周土木紀行」	広島県コンクリート診断士会 鈴木副会長	
第26回	H28.11.9 賛助会員感謝デー 会社紹介 「戦争を体験した機」	㈱Roop's 丹羽会員 広島県コンクリート診断士会 鈴木副会長	
第27回	H29.1.18 RFID構造物診断技術「WIMO(ワイモ)」の概要と運用事例	太平洋セメント㈱ 田中氏、江里口氏	
第28回	H29.3.8 「平和の灯 補修試験結果 中間報告」 広島(軍艦島)現地研修会 研修内容説明	広島県コンクリート診断士会	

サロン開催5回、記念講演1回



平和記念公園 平和モニュメント 「平和の灯」

ボランティア健全度調査
平成28年5月12日
自然電位計測時

高圧洗浄&補修試験
平成29年1月12日

- ### 平成29年度活動計画
- ①第7回通常総会(7月5日予定)
 - ②技術研修会(サロン)(隔月予定)
 - ③講演会1回(第7回通常総会時予定)
 - ④技術支援講習会:講師派遣
広島市職員向け「コンクリート品質管理講習会」
広島県測量設計業協会主催
「コンクリート診断士受験講習会」
広島県土木協会主催 自治体職員向け「橋梁補修講座」
 - ⑤現場研修会1回(4月14日実施済み 長崎 軍艦島)
 - ⑥役員会 (隔月サロン開催日・総会日に予定)
 - ⑦広島平和モニュメントのボランティア維持管理活動の継続
「平和の灯」ボランティア補修工事
(一社)コンクリートメンテナンス協会と共同実施

(16) 宮崎県コンクリート診断士会

第7回JCD定時総会

地区の会名：宮崎県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- 設立年：平成25年6月
- 会員数：平成29年4月1日現在 学会会員1名 正会員44名, 賛助会員57名 個人会員計102名 法人会員51社
- 活動地区：宮崎県

2. 28年度活動報告

- 平成28年5月 コンクリート診断士試験対策勉強会
- 平成28年6月 コンクリート診断士試験対策勉強会
- 平成28年6月 通常総会
- 平成28年10月 構造力学勉強会
- 平成28年11月 JCD業務体験発表会 参加
- 平成28年11月 コンクリート舗装試験施工見学会

2016/5/28 1

第7回JCD定時総会

3. 29年度活動計画

- 平成29年5月 コンクリート診断士試験対策勉強会
- 平成29年6月 通常総会
- 平成29年6月 コンクリート診断士試験対策勉強会
- 平成29年8月 宮崎県県土整備部との勉強会
- 平成29年11月 JCD業務体験発表会への会員派遣
- 平成30年3月 構造力学勉強会

2016/5/28 2

(17) 福岡県コンクリート診断士会

第7回FCD定時総会



**一般社団法人福岡県コンクリート
主任技士・診断士会**

1. 組織情報

- ・設立年：H27年4月
- ・会員数：H29.4.1現在 個人会員計67名 法人会員24社
- ・テリトリー：福岡県、佐賀県

2. 2016年度活動報告

①平成28年度コンクリート構造物の施工及び補修・補強に関する研修会（平成28年5月、福岡大学、参加人数43名）

②平成28年度コンクリート診断士受験・診断技術講習会（平成28年6月、福岡大学、参加人数27名）

2016/5/28 1

③平成28年度コンクリート技士・主任技士受験及び技術講習会（平成28年10月、福岡大学、参加人数17名）

④コンクリートの温度応力解析（4件）

⑤平成28年度FCDに課題・問題に関する意見交換会（平成28年12月、つぼ八、参加人数17名）

⑥コンクリート工学会委員会活動への協力（九州における凍害現場の調査）

2016/5/28 第7回FCD定時総会 2

第7回FCD定時総会

3. 2017年度活動計画

①平成29年度コンクリート構造物の施工及び補修・補強に関する研修会（平成29年7月～平成30年3月、福岡大学）

②平成29年度コンクリート診断士受験・診断技術講習会（平成29年5月、福岡大学）

③平成29年度コンクリート技士・主任技士受験及び技術講習会（平成29年10月、福岡大学）

2016/5/28 3

④コンクリートの温度応力解析業務

⑤講座「社会基盤のメンテナンス工学」の開催（ASISとの共催、平成29年9月～11月）

⑥新技術・新工法の紹介（平成29年7月）

⑦現場見学会（平成29年10月）

2016/5/28 第7回FCD定時総会 4

(18) 富山県コンクリート診断士会

富山県コンクリート診断士会の略歴

- 平成19年6月 会員41名・賛助会員8法人で設立
 - 平成29年の会員数79名 賛助会員数11法人
今年で創立10年を迎えました。
 - 主な活動内容
 - a) 年2回 技術セミナーを開催
 - b) 2年1回 現場見学会を開催
 - c) 4～5回/年 役員会を開催
- その他、県・建設業界・電力業界などにコンクリートに関する講演会の講師を派遣

平成29年度の役員(案)

役職	氏名	所属	備考
顧問	宮里 心一	金沢工業大学 教授	
	伊藤 始	富山県立大学	
会長	安川 榮志	富山東部生コン㈱	
副会長	森 直生	日本交通興業㈱	
幹事	川口 清美	北陸コンサルタント	
	隠島 直人	深川コンクリート	
	大代 武志	富山県	
	細野 恭成	㈱アイベック	
	藤本 一行	丸新志鷹建設	
監査役	参納 千夏男	北陸電力㈱	
事務局長	高瀬 俊介	㈱新日本コンサルタント	
事務局	㈱新日本コンサルタント 本社 管理部門内		

技術セミナー



平成29年度の活動計画

- 富山県コンクリート診断士会10周年記念イベントを8月25日(金)に開催予定
- 会員の意見として軍艦島の見学希望が多いので計画中
- 亜硝酸塩リチュームを使用した補修施工の実施予定

診断士会の今後の問題点

- 診断士有資格者の高齢化にともない、脱会人数が増えてきている、今後は、新規入会者より脱会者の方が増える可能性あり。

富山県コンクリート診断士会の決意

- 富山県コンクリート診断士会の会員は行政機関・建設業・生コン・コンサルタント・電力に席を置きコンクリート構造物の設計・施工・維持管理のプロ集団であり関連業界に注目されています。

その期待に応じるような技術セミナー開催し切磋琢磨し診断力の向上そして地域社会に貢献できるような診断士会になるように努力していきます。

(19) 宮城県コンクリート診断士会

第8回JCD定時総会

地区の会名：宮城県コンクリート診断士会

1. 組織情報

- ・設立年：H26年3月
- ・会員数：H29.4.1現在 正会員101名，法人会員6社
- ・テリトリー：宮城県，東北南部（山形，福島）中心ですが，希望があればどの県の方でも入会可

三巻県，宮崎県と
混同しないよう，
県花ミヤギノハギの
葉っぱが生えています



2. 2016年度活動報告

- ・総会（4月21日）
- ・技術講習会3回（4月21日，7月22，23日，12月9日）
- ・EE(Engineering Exhibition)東北'16にて周知活動（6月）
- ・法人会員への業務紹介（5件中3件成立）

2017/5/24 3

第8回JCD定時総会

2. 2016年度活動報告

総会
(4月21日)
出席者61名




総会時
意見交換会
出席者41名

2017/5/24 2

第8回JCD定時総会

2. 2016年度活動報告

第4回技術講習会（4月21日）講演4件



東北地方の高速道路における補修について



詳細調査を伴う補修事例などについて



山形県K市橋梁調査結果の検証



診断に苦勞した現場事例の紹介

2017/5/24 3

第8回JCD定時総会

2. 2016年度活動報告

第5回技術講習会（7月22日，23日）上市市見学会



2017/5/24 4

第8回JCD定時総会

2. 2016年度活動報告

第6回技術講習会（12月9日）3講演



連続連続シート工法の適用範囲



経路硬化ポリマーセメントモルタルのコンクリート床版補修への適用事例



怪ましい診断事例の紹介




2017/5/24 3

第8回JCD定時総会

3. 2017年度活動計画

- ・総会（4/20開催済み：出席者51名）
- ・技術講習会の開催
 - 第7回（4/20開催済み）
 - 第8回（9月予定：近県1泊見学会）
 - 第9回（12月予定）
- ・日本コンクリート診断士会との連携強化
 - 役員11名の入会と情報共有
- ・地方自治体の管理する橋梁
 - 点検調査の内容精査・写真からの劣化原因の推定（70橋，2200枚）
- ・JCI東北支部との連携強化
 - JCI東北支部主催勉強会への積極的参加（10月予定）
- ・会員増員活動
 - 宮城県内の今年度診断士合格者へのPR活動
- ・ホームページの積極活用

2017/5/24 6

(20) 熊本県コンクリート診断士会

熊本県コンクリート診断士会

熊本県コンクリート診断士会

平成29年度 事業活動報告

熊本県コンクリート診断士会

1. 現場見学会の開催・・・・・・・・・・4月15日(土)

発注者： 天草広域本部 土木部
 受注者： 横川・日本ピーエス・吉田・吉永建設工事
 共同企業体

工事名： 国道266号交通円滑化改築(新天門橋)工事
 場 所： 上天草市大矢野町登立地内
 総会前にて執行・・・西日本建設新聞記事を添付

熊本県コンクリート診断士会

最先端技術に触れる 新天門橋で現場見学会



熊本県コンクリート診断士会(事務局)は、4月15日(土)上天草市大矢野町登立地内(新天門橋)で、横川・日本ピーエス・吉田・吉永建設工事(共同企業体)が実施する「国道266号交通円滑化改築(新天門橋)工事」の現場見学会を開催しました。当日は、新天門橋の構造や、最先端技術に触れることができました。

参加者からは「中絶アースポンプとして国内最大規模の橋脚はびびる(思えない部分)にも確認でき、夫が運送されておられ、技術者として大きな感動と刺激を受けた。などの感想が寄せられました。

本会は、現場を体験し、最新の技術に触れる機会を多く提供することを目的として、今年も定期的に診断士の技術向上を促進する事業を行います。

熊本県コンクリート診断士会

2. 総会・・・5月下旬に総会を実施する・・・5月20日(土)

講演：午後16:00～17:00 尾上幸造 熊本大学准教授
 定期総会：午後17:10～17:45
 懇親会：午後18:00～

3. 第2回コンクリート診断士受験直前対策講習会・・・6月10日・11日(土・日曜日)

※ 土木学会CPD・CPDS取得済(12.2単位)

講師
 浦野登志雄 博士(工学)(熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科教授)
 武田 浩二 博士(工学)(熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)
 松家 武樹 博士(工学)(熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科 准教授)
 尾上 幸造 博士(工学)(熊本大学大学院先端科学研究部建設技術分野 准教授)

熊本県コンクリート診断士会

4. (一財) 熊本県建設技術センター 講習会 講師派遣

※コンクリートの品質管理(受注者)半日・・・6月15日(木) 3名(個人会員)

1) ひび割れの種類と発生原因 : 柳瀬 茂徳 診断士
 2) ひび割れの発生防止対策 : 桑畑 俊郎 診断士
 3) ひび割れの抑制対策事例及び原因推定と補修方法選定 : 勇 秀忠 診断士

※コンクリートの品質管理(発注者)半日・・・6月16日(金) 3名(個人会員)

1) ひび割れの種類と発生原因 : 椎葉 晃吉 診断士
 2) ひび割れの発生防止対策 : 宮村 遼孝 診断士
 3) ひび割れの抑制対策事例及び原因推定と補修方法選定 : 勇 秀忠 診断士

熊本県コンクリート診断士会

5. 第6回コンクリート講習会 開催・・・8月末(未定)

※ 土木学会CPD・CPDS取得予定

場所：建設技術センター借用

時間配分：午前10:30～12:00・・・先生による講演
 午後13:00～14:30・・・先生による講演
 午後14:40～15:40・・・先生による講演
 午後15:50～16:50・・・会員による講演

報告 (2) 会員数等報告

個人会員数 (2017. 4. 1 現在)

No	名 称	学術	正 (法)	賛 (法)	正	賛助	合計	16.4	入退会 増減	増減
1	福井県コンクリート診断士会	0			119	9	128	116	0/8/4	12
2	鳥取県コンクリート診断士会	2			46	0	48	44	0/4/0	4
3	島根県コンクリート診断士会	1			86	0	87	78	0/9/0	9
4	東京コンクリート診断士会	3	22	6	177	4	212	211	0/0/1	1
5	石川県コンクリート診断士会	0			94	10	104	80	0/22/2	24
6	NPO 大分県コンクリート診断士会	1	1	0	70	0	72	72	0/0/0	0
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	50	0	53	51	0/2/0	2
8	静岡コンクリート診断士会	0			73	0	73	68	0/5/0	5
9	京滋コンクリート診断士会	0	2	0	16	1	20	15	0/5/0	5
10	高知県コンクリート診断士会	3			43	0	46	36	2/8/0	10
11	新潟県コンクリート診断士会	2			116	7	125	121	0/3/1	4
12	長野県コンクリート診断士会	3	2	1	56	12	74	68	0/7/-1	6
13	北海道コンクリート診断士会	0	4	1	113	4	122	129	0/-5/-2	-7
14	東海コンクリート診断士会	1	0	2	76	24	103	98	0/4/1	5
15	広島県コンクリート診断士会	2			89	0	91	80	0/11/0	11
16	宮崎県コンクリート診断士会	1			33	60	94	95	0/0/-1	-1
17	(一社)福岡県コンクリート主任技士・ 診断士会	2			32	2	36	47	0/-11/0	-11
18	富山県コンクリート診断士会	0			65	0	65	64	0/1/0	1
19	宮城県コンクリート診断士会	0			12	0	12	11	0/1/0	1
20	熊本県コンクリート診断士会	2			42	0	44	-	2/42/0	44
21	直接入会会員		1		6	1	8	10	0/-2/0	-2
	合計	25	33	10	1414	134	1617	1494		123

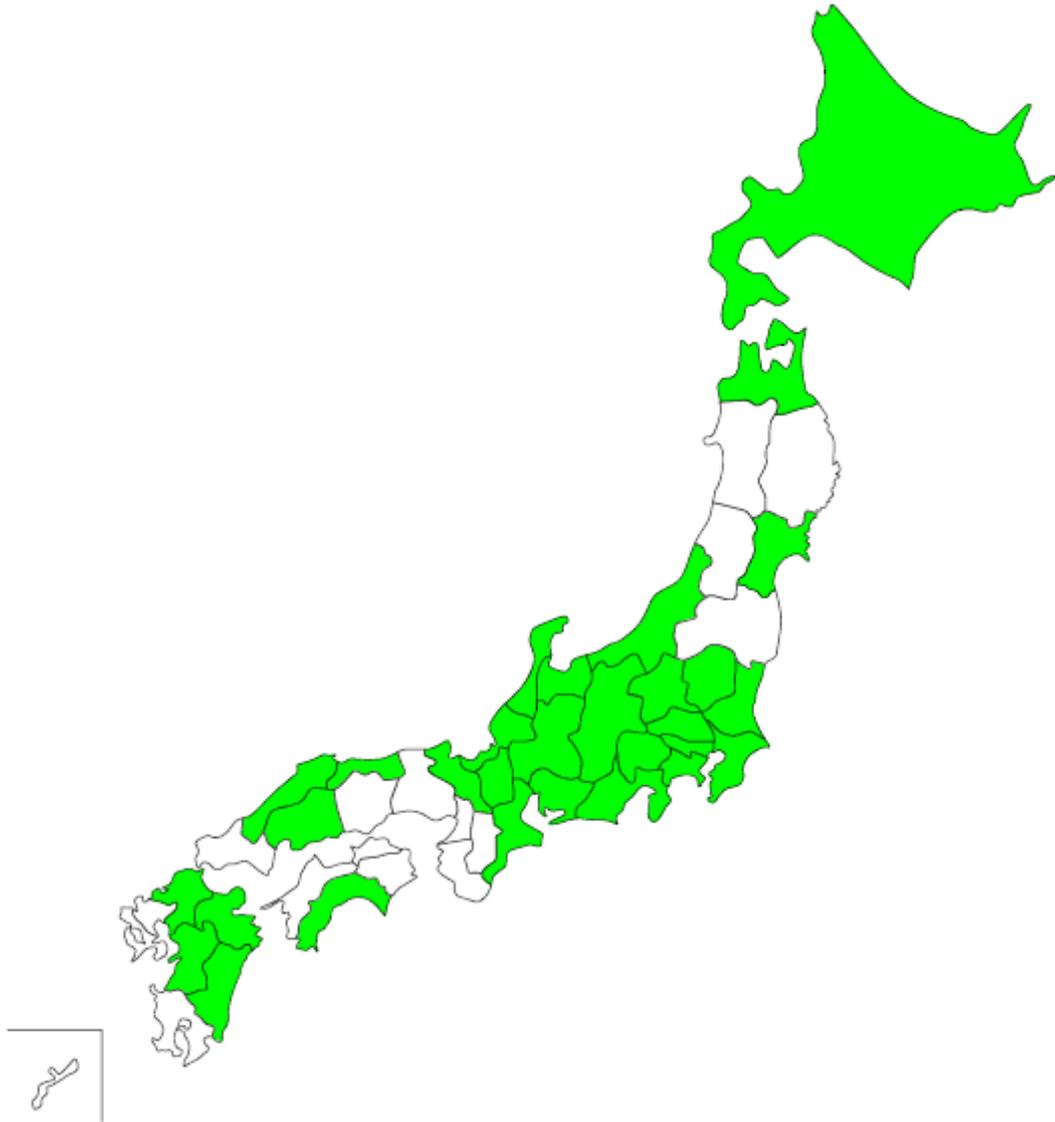
注) 入退会増減の「0/0/0」は、「学術会員/正会員/賛助会員」の増減数である。

地区の会からの登録会員数： 1542 名(=1415+134-7)

学術・正会員数： 1472 名(=25+33+1414)

法人会員数 (2017. 5. 10 現在)

No.	法人会員 R	会員数	法人枠登録個人会員	
			正会員	賛助
1	ランク SA	0	-	-
2	ランク A	14	14	4
3	ランク B	9	7	2
4	ランク C	49	12	4
	合計	72	33	10



JCD に加盟している地区診断士会

報告 (3) 参加委員会活動報告

1. 28年度サステナビリティ委員会・サステナビリティフォーラム活動報告

28年度のサステナビリティフォーラムの活動の概要（委員会開催月日+主な議題他）を以下に示す。

(1) 第22回サステナビリティフォーラム委員会 2016年6月3日

議題を下記に示す。

- ① 前回議事録（案）の確認
- ② シンポジウムⅢについて
- ③ JRへのヒアリング
- ④ 国土交通省・総合研究開発プロジェクトについて
- ⑤ サステナビリティフォーラムのメンバーについて
- ⑥ セメント産業における省エネ製造プロセスの普及拡大方策に関する調査報告書について
- ⑦ コンクリート工学への連載について

(2) 第23回サステナビリティフォーラム委員会 2016年8月3日

議題を下記に示す。今回のサステナビリティフォーラムは建設会社の専門家との意見交換である。

- ① 前回議事録（案）の確認
- ② シンポジウムⅢなどについて
- ③ サステナビリティフォーラムおよび参画団体の活動について

- ✓ コンクリートサステナビリティ宣言（堺議長）
- ✓ 鉄鋼スラグ協会（當房委員）
- ✓ 全国コンクリート製品協会（西本委員）
- ✓ 日本コンクリート診断士会（木村委員）
- ✓ セメント協会（高橋茂委員）
- ✓ 日本鉱業協会（永井委員）
- ✓ 日本建設業連合会（川端委員）
- ✓ 骨材資源工学会（山崎委員）
- ✓ フライアッシュ協会（高橋守男委員）
- ✓ コンクリート用化学混和剤協会（瀧澤委員）

(3) 第24回サステナビリティフォーラム委員会 2016年10月31日

議題を下記に示す。

- ① 前回議事録確認
- ② シンポジウムⅣについて
 - ✓ 日本コンクリート診断士会（資料・フォーラム 24-3, 木村委員）
 - ✓ 骨材資源工学会（資料・フォーラム 24-4, 山崎委員）
 - ✓ セメント協会（資料・フォーラム 24-5, 高橋茂委員）
 - ✓ コンクリート用化学混和剤協会（資料・フォーラム 24-6, 瀧澤委員）
 - ✓ 日本建設業連合会（資料・フォーラム 24-7, 川端委員）
 - ✓ フライアッシュ協会（高橋守男委員）
 - ✓ 全国コンクリート製品協会（資料・フォーラム 24-8, 西本委員）
- ③ サステナビリティ宣言に対する報告書について

④サステナビリティ委員会の今後の展望について

(4) 第25回サステナビリティフォーラム委員会 2016年12月20日

議題を下記に示す。

①前回議事録確認

②情報提供

- ✓ Sustainability & Resilience (資料・フォーラム 25-2, 堺議長)
- ✓ セメント新聞 (資料・フォーラム 25-3, 堺議長)
- ✓ JIS Q 13315-1 & 2 (資料・フォーラム 25-4, 堺議長)

③コンクリートサステナビリティフォーラム報告書

各機関におけるコンクリートサステナビリティへの取り組みについて紹介がなされ、議論がなされた。

- ✓ セメント協会 (資料・フォーラム 25-5, 高橋茂委員)
- ✓ 日本建設業連合会 (資料・フォーラム 25-6, 川端委員)
- ✓ コンクリート用化学混和剤協会 (資料・フォーラム 25-7, 瀧澤委員)
- ✓ フライアッシュ協会 (資料・フォーラム 25-8, 高橋守男委員)
- ✓ コンクリート製品協会 (資料・フォーラム 25-9, 西本委員)

(5) 第26回サステナビリティフォーラム委員会 2017年2月27日

議題を下記に示す。

①前回議事録(案)の確認

②情報提供

- ✓ 国交省・総合政策局環境政策課との意見交換会 (資料・フォーラム 26-2, 堺議長)
- ✓ 現在のインフラストック維持管理に関する動向 (資料・フォーラム 26-3, 木村委員)
- ✓ 日建連による「選択的」低炭素型コンクリート利用促進 (資料・フォーラム 26-4, 川端委員)
- ✓ サステナブルコンクリート製造への化学混和剤の役割と課題 (資料・フォーラム 26-5, 瀧澤委員)
- ✓ 非鉄スラグの建設資材用途への利用拡大活動による環境負荷低減 (資料・フォーラム 26-6, 田中委員)
- ✓ コンクリート製品による環境貢献と最新技術 (資料・フォーラム 26-7, 西本委員)
- ✓ セメントは持続可能社会構築のコア材料 (資料・フォーラム 26-8-1, 資料・フォーラム 26-8-2, 高橋委員)

③フォーラムシンポジウム

3月15日のシンポジウムは、各業界から10名以上の参加となるよう、各委員(特に、セメント業界および建設業界)は、関係者に参加を呼びかけることとする。

2017年秋のシンポジウムは、JIS Q 13315-2に基づく試算結果を踏まえた議論を主な内容とし、2018年初旬のシンポジウムは報告書改訂版の報告を主な内容とする。

(6) シンポジウム関係

シンポジウムは、下記の2回開催された。

①コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅢ —耐震設計における多軸思考—

開催日：2016年9月16日(金) 13:00~17:00

開催場所：東京大学・浅野キャンパス・武田ホール

②コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムⅣーサステナビリティフォーラム各団体の創造的挑戦ー

開催日：2017年3月15日（水）13:00～17:00

開催場所：東京大学・福武ホール

なお、詳細はHPを参照してください。

2. インフラメンテナンス国民会議報告

平成29年度 インフラメンテナンス国民会議 事業計画書（抜粋）

1. 運営の基本的な考え方

我が国のインフラは、高度経済成長期などに集中的に整備され、短期間による高い経済・生活水準の実現に貢献してきた。しかし、我が国のインフラは老朽化が大きく進行しており、人口減少や地域経済縮小がさらに進んでインフラサービスの維持が困難となると、我が国や地域の経済や生活に大きく影響することが懸念される。すなわち、地域の今後の展開はインフラメンテナンスの成否が鍵を握っていると言っても言い過ぎではない。よって、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保し、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムへの転換を図ることは喫緊の課題である。

インフラメンテナンス国民会議（以下、「国民会議」という。）は、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的として、平成28年11月28日に設立された。具体的には、インフラ老朽化の課題を社会全体で解決する新たなモデルを実現するため、施設管理者や建設業のほか異業種産業、市民、学術研究機関等の産学官民のあらゆる主体の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして運営していく。

設立時に199者だった会員も492者に増え（平成29年3月21日現在）、会員または社会から国民会議に寄せられる期待も高まっており、平成29年は新たに会員を集めて本格的に事業を実施する初年度を迎える。

本事業計画書は、インフラメンテナンス国民会議実施要領に基づき定める事業計画であり、また、国民会議が社会に貢献していくために会員が共有すべきビジョンや中期展開などをまとめており、これに基づき初年度の国民会議を運営していく。

（1）国民会議の目指すビジョン

会員は、以下の国民会議が目指すビジョンを共有しながら、その実現に向け、インフラメンテナンス国民会議実施要領第三条が定める事業内容を一丸となり取り組む。ビジョンは下記のとおりである。

- ・産学官民が知恵を出し合い、オープンイノベーションによってインフラ老朽化の課題を解決し、少子高齢・人口減少社会におけるより豊かな未来・まちづくりに貢献する。
- ・持続的にインフラ老朽化の課題の解決にあたるため、メンテナンス産業の魅力を高め、その裾野の拡がりを目指す。

（2）中期的な展開

国民会議が目指すビジョンの実現に向けて、設立後から平成32年からの自立的な活動に至るまでの以下の中期的な展開を共有し、運営していく。年次別の中期的な展開は下記のとおりである。

H28年度：国民会議の設立、5フォーラムの設立

H29年度（本年度）：既存5フォーラム活動の加速、新規フォーラムの設立、相互連携、成果の発現

H30年度：フォーラム活動の充実と相互連携加速、成果の発現

H31 年度：国民会議活動の充実，成果の加速度的発現

H32 年度：国民会議自立的活動の実現

(活動の方向性とその中期的な目標)

運営体制：設立時に計画された実行委員会，部会やフォーラムの活動を軌道に乗せるとともに，国民会議の活動に対する社会や会員のニーズを把握し，国民会議に期待される役割を踏まえた新たな活動を企画，運営する。

革新的技術の発掘と社会実装：インフラメンテナンス革命をもたらす革新的技術について，社会実装や現場試行のきっかけを生み出す，シーズ側とニーズ側との情報交換や人材交流を全国的に促進する。また，我が国のインフラメンテナンスの海外への市場展開を促進するため，海外市場に展開する具体的な案件を形成する。

企業等の連携の促進：インフラメンテナンスにおけるオープンイノベーションをさらに加速するための会員内外の企業等の連携のきっかけとなる取組を進める。

地方自治体への支援：地方自治体が平成32年までに行う個別施設計画の策定，実施を支援するため，会員自治体の抱える課題や国民会議における解決の到達点を明確にし，その解決に必要となるフォーラム活動を企画，実施していく。また，包括的民間委託や技術者派遣等の自治体支援方策について，包括的民間委託の事例の横展開や技術者派遣の制度化等の取組を官民連携して進め，良質で健全なサービスおよび市場を形成する。

インフラメンテナンスの理念の普及：インフラメンテナンスおよび国民会議の理念を社会に徐々に浸透させる。

インフラメンテナンスへの市民参画の推進：インフラメンテナンスへの理解や，市民参画の有り様についての社会の共通認識を徐々に形成するとともに，新たに市民参画に実践するモデル地域を発掘し，実現する。

(3) 平成29年度における活動の方針

国民会議の活動の中心をなすフォーラムについては，これまでに設立されたフォーラム（自治体支援，革新的技術，技術者育成，市民参画，海外市場展開）の活動を本格化させるとともに，会員の発意による新たな施設分野やテーマ等を扱うフォーラムの設置についても積極的に支援する。

地域単位で課題解決を目指す地方フォーラムについては，これまでに動きのある近畿，中部，北陸における活動を本格化させるとともに，他ブロックにおいても設立の機運を高め，始動に向けた調整を行う。また，地方フォーラムの運営に当たっては，革新的技術フォーラム等の全国的なフォーラムとのテーマ調整や，SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）が設ける地域実装支援チームとの連携を図り，現場におけるインフラメンテナンスの革新や新技術の社会実装に向けた地域レベルにおける効果的な成果を生み出す運営を図る。

また，国民会議の目指す社会のビジョンや国民会議のミッション，中期的な活動の方向性，内容について，有識者委員会を速やかに設置して諮り，提言をとりまとめて今後の国民会議の運営や組織体制，関係省庁による支援等に反映する。

関係省庁によるインフラメンテナンス大賞については第1回の表彰案件が決定するため，関係省庁と連携し，表彰案件等の全国的な普及を図る。また，本国民会議の自立的な運営（事務局等の完全な会員による運営）体制についても検討を行う。

以上

報告(4) 2017年度 理事・監事, 幹事 一覧

理事・監事一覧

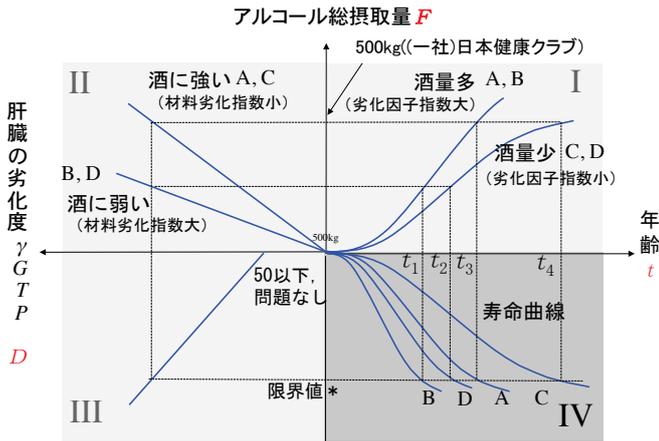
区分	役職	氏名	地区会・社名	備考
理事	会長	林 静雄	東京	
理事	副会長	小野 定	東京	
理事	副会長	佐藤 嘉昭	大分	
理事	企画部会長	石川 裕夏	福井	
理事	企画副部会長	岡崎 勝信	宮崎	
理事	総務部会長	竹内 祥一	東海	総会及び定款・細則他を担当
理事	総務副部会長	大和 竹史	福岡	
理事	財務部会長	井田 豊	島根	
理事	技術部会長	奥村 智洋	鳥取	
理事	技術副部会長	奥田 由法	石川	
理事	技術副部会長	米倉 亘州夫	広島	
理事	広報部会長	名倉 昭三	静岡	
理事	広報副部会長	日堂 俊之	長野	
理事	広報副部会長	岸川 英樹	京滋	
理事	会員部会長	原田 隆敏	高知	
理事	会員副部会長	奈良 裕	青森	
理事	会員副部会長	細谷 多慶	法人(ランデス)	
監事	—	田畑 雅幸	北海道	
監事	—	本田 明	新潟	
理事	事務局長	田澤雄二郎	東京	
	部会員	森 直生	富山	
	部会員	武田三弘	宮城	
	部会員	勇 秀忠	熊本	

幹事 一覧

No.	氏 名	JCD 担当部会	所 属	所属での役職
1	小野 定	JCD 副会長	(株)シーアンドアールコンサルタント	TCD 会長
2	田澤 雄二郎	JCD 事務局長	JCD 理事	TCD 副会長
3	峰松 敏和	企画部会, 技術部会	(有)テクノミネット	TCD 技術部会長
4	重松 和男	企画部会	TCD	TCD 監査役
5	小林 剛	技術部会	(株)第一テクノコンサルツ	TCD 監査役
6	磯川 省三	技術部会	JCD	TCD 技術副部会長
7	篠川 俊夫	広報部会	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	TCD 広報部会長
8	降矢 良男	広報部会	(株)日工技研	TCD 広報副部会長
9	天野 智雄	広報部会	(株)フタバコーケン	静岡診断士会幹事
10	星野 富夫	会員部会	(株)土木管理総合試験所	TCD 会員部会長
11	仲田 昌弘	総務部会	新東産業(株)	TCD 財務部会長
12	木村 克彦	総務部会, 事務局	木村技術士事務所	TCD 企画部会長
13	大野 一昭	事務局	日本コンクリート技術 (株)	TCD 事務局長
14	毎田 敏郎	事務局	JCD	TCD 事務局 TCD 企画副部会長

以 上

お酒と寿命のPDFt曲線(概念)



注*: 関係図は概念(橋高作)で医学的、定量的な根拠はない! 体の機能低下 P

コンクリートの耐久性向上のためには?

コンクリートのイメージは...

良いもの? 汚いもの?
コンクリート 人工物 文化的価値が備わっていない?

文化性の向上により

- ➡ 良い物を作る, 残す, 造り手の意識
- ➡ 品質, 信頼性, 価値の向上
- ➡ 維持保全, 耐久性の向上

世の中の呼び方はコンクリ?



木 石
土 鐵

コンクリート
そもそも漢字がない
文化が生じない!
混凝土? 砵?

本邦最初鐵筋混凝土橋



日本最初の鉄筋コンクリート
琵琶湖疎水アーチ(1903.7)
76 委員会調査2000年

「本邦最初鐵筋混凝土橋」
と書かれた立派な石碑



コンクリートを表す漢字

JCI コンクリートの文化性に関する調査研究委員会
2010が推奨するコンクリートの漢字(公募)

音: コン
訓: こんくりーと

使用例: 鉄筋砵



砵

書: 書家原野美子女史による

古代ローマコンクリートの技術



板状のレンガを水平あるいはくさび状に埋め込み、垂直荷重に抵抗するように工夫している。
→複合強化メカニズム

ヴィラ・アドリアーナ,
ティボリ, イタリア, A.D.2世紀前半

古代ローマコンクリートの技術



パンテオン, ローマ, A.D.2世紀前半
 上部ほど軽量の骨材を用いており, 複合材料としてのコンクリートの特性を生かしている。

コンクリートの父

オーギュスト・ペレ
 (ベルギー, 1874-1954)

ノートル・ダム・デュ・ランシー教会
 (1923年, ル・ランシー)
最初の打放しコンクリート建築物

フランクリン街のアパート
 (1903年, パリ)
 RC造による初期の近代建築

名言: **よくつくられたコンクリートは大理石よりも美しい** ☆

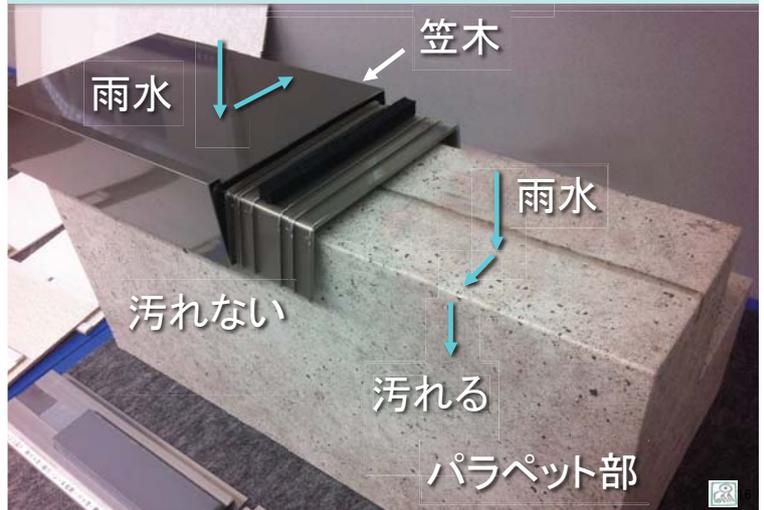


写真: 平井ゆか氏

打放しコンクリートの汚れ防止対策

- ・吸水係数を小さく (単位水量少, 湿潤養生)
- ・表面粗さを小さく (平滑型枠, 湿潤型枠, 入念打設)
- ・塗布材 (浸透性, 長期性能)
- ・洗浄, メンテナンス

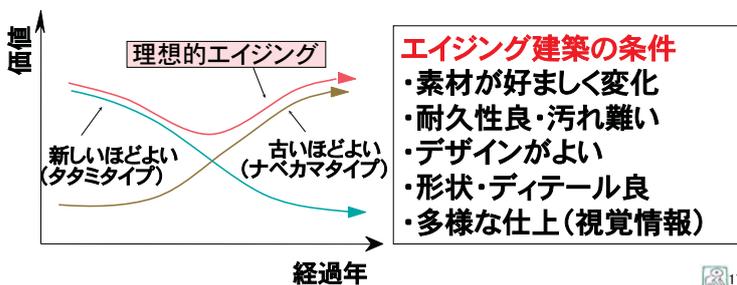
笠木による汚れ防止



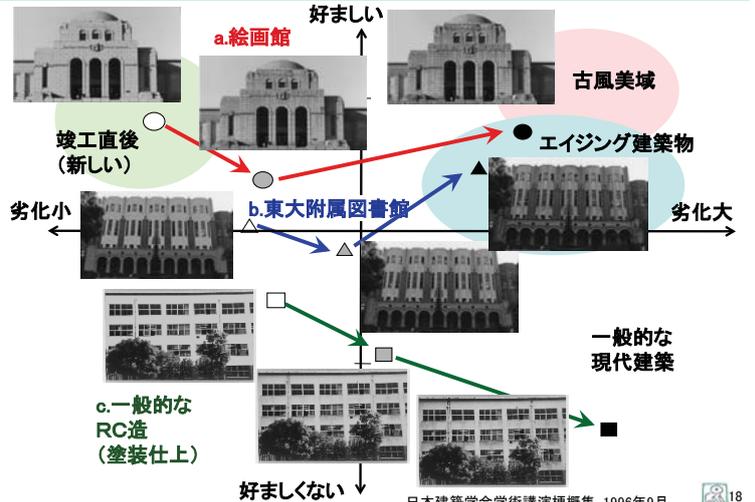
エイジングとは

Aging (建築大辞典第二版)

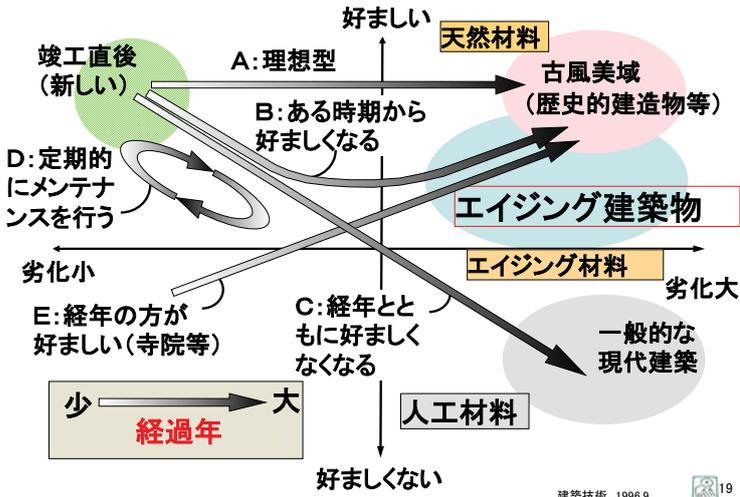
- ①物理・科学的作用を受けて, 長時間のうちに本来の性能が低下する老化現象
- ②年月の経過に伴い景観的な質が向上する働き (然帯・さおび)



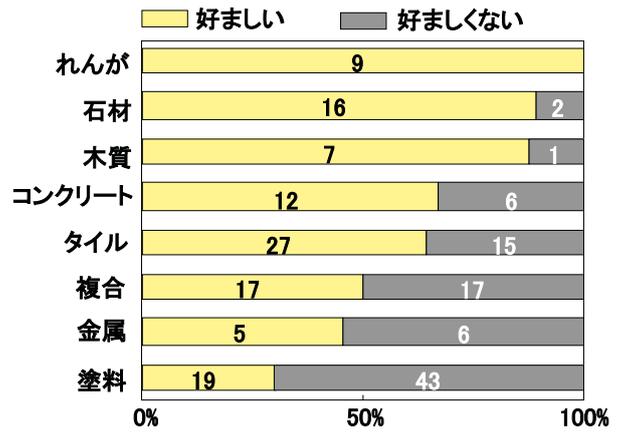
シミュレーション画像を用いたエイジング評価例



建築物のエージングのパターン



エイジングの観点での外壁素材の好ましさ



コンクリート工学 Vol. 41(2003) No. 9 

打放しコンクリートのエイジング建築例

ロンシャンの礼拝堂 (1956年, ル・コルビュジェ)



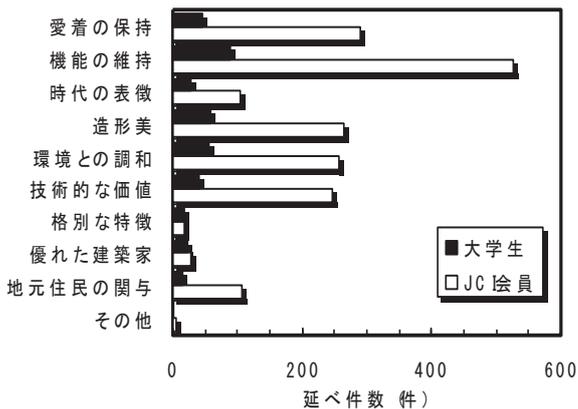
打放しコンクリートのエイジング建築例

大学セミナーハウス・本館 (1965年, 八王子, 吉阪隆正)



再度、コンクリートの文化性の考察

文化性を得るための要件のアンケート結果



JCIコンクリートの文化性に関する調査研究委員会報告書, 2010 

身近に感じるものが文化? 触る、口を付ける

